平成１９年４月２４日

薬事・食品衛生審議会
　食品衛生分科会長　吉倉　廣　殿

薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会
　農薬・動物用医薬品部会長　大野　泰雄

薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会
農薬・動物用医薬品部会報告について

　平成１８年１１月２４日厚生労働省発食安第 1124006 号をもって諮問された、食品衛生法（昭和２２年法律第２３３号）第１１条第１項の規定に基づくアゾキシストロビンに係る食品規格（食品中の農薬の残留基準）の設定について、当部会で審議を行った結果を別添のとおり取りまとめたので、これを報告する。

（別添）

アゾキシストロビン

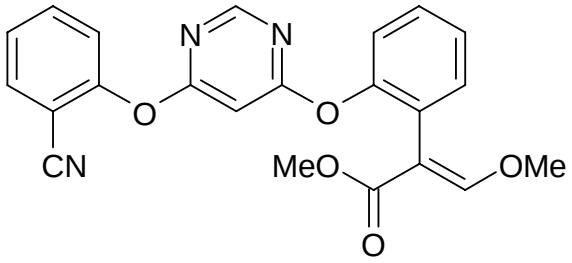
１．品目名：アゾキシストロビン（Azoxystrobin）

２．用途：殺菌剤

ストロビルリン系殺菌剤である。エネルギー生成に重要な役割を果たしているミトコンドリアの電子伝達系の中のコハク酸－ＣｏＱリダクターゼ間の電子伝達を阻害することにより作用すると考えられる。

３．化学名：メチル＝（Ｅ）-2-｛2-［6-（2-シアノフェノキシ）ピリミジン-4-イルオキシ］フェニル｝-3-メトキシアクリラート

４．構造式及び物性



分子式　$C_{22}H_{17}N_3O_5$
分子量　403.4
水溶解度　6.0 mg/L（20℃）
分配係数　logPow=2.5（20℃）

（メーカー提出資料より）

５．適用病害虫の範囲及び使用方法

本薬の適用病害虫の範囲及び使用方法は以下のとおり。

作物名となっているものについては、今回農薬取締法（昭和 23 年法律第 82 号）に基づく適用拡大申請がなされたものを示している。

また、申請者から、「国外で使用される農薬等に係る残留基準の設定及び改正に関する指針について」（平成 16 年 2 月 5 日付け食安発第 0205001 号）に基づき、コーヒー豆に設定されている残留基準の変更が要請されている。

（1）国内における使用方法

①20.0%アゾキシストロビン水和剤（フロアブル）

<table>
<tr><th>作物名</th><th>適用
病害虫名</th><th>希釈
倍数</th><th>使用液量</th><th>使用時期</th><th>本剤の
使用回数</th><th>使用方
法</th><th>アゾキシストロビン
を含む農薬の
総使用回数</th></tr>
<tr><td rowspan="2">小麦</td><td>紅色雪腐病</td><td>原液</td><td>4～8mL/
乾燥種子 1kg</td><td>は種前</td><td>1 回</td><td>種子吹き
付け処理</td><td rowspan="2">4 回以内
（種子への処
理は 1 回以
内、は種後は
3 回以内）</td></tr>
<tr><td>うどんこ病
赤かび病
赤さび病</td><td rowspan="2">2000～
3000 倍</td><td>100～200
L/10a</td><td rowspan="2">収穫 7 日前まで</td><td rowspan="2">3 回以内</td><td rowspan="2">散布</td></tr>
<tr><td rowspan="3">だいず</td><td rowspan="2">紫斑病</td><td>100～400
L/10a</td><td rowspan="4">3 回以内
（無人ヘリ
散布は2回以
内）</td></tr>
<tr><td>16～
24 倍</td><td>800mL/10a</td><td>収穫 21 日前まで</td><td>2 回以内</td><td>無人ヘリ
コプター
による散
布</td></tr>
<tr><td>腐敗粒
べと病</td><td rowspan="3">2000 倍</td><td>100～400
L/10a</td><td rowspan="2">収穫 7 日前まで</td><td rowspan="2">3 回以内</td><td rowspan="9">散布</td></tr>
<tr><td>あずき
いんげんまめ</td><td>炭疽病</td><td>60～200
L/10a</td><td>3 回以内</td></tr>
<tr><td>エンダイブ</td><td>菌核病</td><td rowspan="7">100～
400L/10a</td><td>収穫 21 日前まで</td><td>1 回</td><td>1 回</td></tr>
<tr><td rowspan="3">きゅうり</td><td>うどんこ病
べと病</td><td>1500～
2000 倍</td><td rowspan="3">収穫前日まで</td><td rowspan="3">4 回以内</td><td rowspan="3">4 回以内</td></tr>
<tr><td>灰色かび病
菌核病</td><td>1500 倍</td></tr>
<tr><td>褐斑病、炭疽病</td><td rowspan="2">2000 倍</td></tr>
<tr><td>にがうり</td><td>うどんこ病
べと病、炭疽病</td><td rowspan="2">収穫 7 日前まで</td><td>3 回以内</td><td>3 回以内</td></tr>
<tr><td>うり類
（漬物用）</td><td>うどんこ病
つる枯れ病
べと病、炭疽病</td><td>1500～
2000 倍</td><td rowspan="2">4 回以内</td><td rowspan="2">4 回以内</td></tr>
<tr><td>メロン</td><td>うどんこ病
つる枯れ病
べと病</td><td>2000 倍</td><td>収穫前日まで</td></tr>
</table>

①20.0%アゾキシストロビン水和剤（フロアブル）（つづき）

<table>
<tr><th>作物名</th><th>適用
病害虫名</th><th>希釈
倍数</th><th>使用液量</th><th>使用時期</th><th>本剤の
使用回数</th><th>使用方
法</th><th>アゾキシストロビン
を含む農薬の
総使用回数</th></tr>
<tr><td>すいか</td><td>つる枯病
炭疽病</td><td rowspan="22">2000 倍</td><td rowspan="17">100～400
L/10a</td><td rowspan="6">収穫前日まで</td><td rowspan="6">4 回以内</td><td rowspan="17">散布</td><td rowspan="6">4 回以内</td></tr>
<tr><td>トマト</td><td>葉かび病
灰色かび病</td></tr>
<tr><td>なす</td><td>うどんこ病
すすかび病</td></tr>
<tr><td>ピーマン</td><td>灰色かび病</td></tr>
<tr><td>たまねぎ</td><td>灰色腐敗病
べと病</td></tr>
<tr><td>らっきょう</td><td>さび病</td><td rowspan="2">収穫 3 日前まで</td><td>3 回以内</td><td>3 回以内</td></tr>
<tr><td>ねぎ</td><td rowspan="3">さび病
べと病
黄斑病、黒斑病</td><td rowspan="3">4 回以内</td><td rowspan="3">4 回以内</td></tr>
<tr><td>わけぎ</td><td>収穫 7 日前まで</td></tr>
<tr><td>あさつき</td><td>収穫 3 日前まで</td></tr>
<tr><td>にら</td><td>白斑葉枯病</td><td>収穫 14 日前まで</td><td>2 回以内</td><td>2 回以内</td></tr>
<tr><td>にんにく</td><td>さび病</td><td>収穫 7 日前まで</td><td rowspan="2">3 回以内</td><td rowspan="2">3 回以内</td></tr>
<tr><td>だいこん</td><td>白さび病</td><td>収穫 14 日前まで</td></tr>
<tr><td>キャベツ</td><td>菌核病</td><td rowspan="2">収穫 7 日前まで</td><td rowspan="2">4 回以内</td><td rowspan="2">4 回以内</td></tr>
<tr><td>はくさい</td><td>べと病
黒斑病
白さび病</td></tr>
<tr><td>パセリ</td><td>うどんこ病</td><td>収穫 45 日前まで</td><td rowspan="2">1 回</td><td rowspan="2">1 回</td></tr>
<tr><td>みつば</td><td>灰色かび病</td><td>収穫 14 日前まで</td></tr>
<tr><td>みょうが
（花穂）</td><td rowspan="2">紋枯病</td><td rowspan="2">3L/m^2</td><td>収穫 3 日前まで</td><td rowspan="4">2 回以内</td><td rowspan="2">土壌灌注</td><td rowspan="4">2 回以内</td></tr>
<tr><td>みょうが
（茎葉）</td><td>みょうが（花穂）の
収穫 3 日前まで
但し、花穂を収穫し
ない場合にあっては
開花期終了まで</td></tr>
<tr><td>非結球
あぶらな科
葉菜類
（ただし、しろな、チンゲンサイを除く）</td><td>白さび病</td><td>100～400
L/10a</td><td>収穫 21 日前まで</td><td>散布</td></tr>
</table>

①20.0%アゾキシストロビン水和剤（フロアブル）（つづき）

<table>
<tr><th>作物名</th><th>適用
病害虫名</th><th>希釈
倍数</th><th>使用液量</th><th>使用時期</th><th>本剤の
使用回数</th><th>使用方
法</th><th>アゾキシストロビン
を含む農薬の
総使用回数</th></tr>
<tr><td>しろな</td><td>白さび病</td><td rowspan="9">2000 倍</td><td rowspan="8">100～400
L/10a</td><td>収穫 14 日前まで</td><td>1 回</td><td>散布</td><td>1 回</td></tr>
<tr><td>しそ</td><td rowspan="2">斑点病</td><td>収穫前日まで</td><td>2 回以内</td><td>株元散布</td><td>2 回以内</td></tr>
<tr><td>クレソン</td><td rowspan="2">収穫 21 日前まで</td><td>3 回以内</td><td rowspan="6">散布</td><td>3 回以内</td></tr>
<tr><td>葉ごぼう</td><td>うどんこ病</td><td rowspan="3">1 回</td><td rowspan="3">1 回</td></tr>
<tr><td>こおにたびらこ</td><td rowspan="2">菌核病</td><td rowspan="2">収穫 30 日前まで</td></tr>
<tr><td>ははこぐさ</td></tr>
<tr><td>せり</td><td>葉枯病</td><td rowspan="2">収穫 7 日前まで</td><td rowspan="2">4 回以内</td><td>4 回以内</td></tr>
<tr><td>レタス</td><td>菌核病
灰色かび病</td><td>4 回以内
（土壌灌注は2回以内）</td></tr>
<tr><td></td><td>ビッグベイン病</td><td>3L/m^2</td><td>収穫 30 日前まで</td><td>2 回以内</td><td>土壌灌注</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="6">いちご</td><td>うどんこ病</td><td>1500～
2000 倍</td><td rowspan="15">100～400
L/10a</td><td rowspan="6">収穫前日まで</td><td rowspan="3">苗床
4 回以内</td><td rowspan="12">散布</td><td rowspan="6">7 回以内
（苗床では 4 回以内、本圃では 3 回以内）</td></tr>
<tr><td>炭疽病</td><td>2000 倍</td></tr>
<tr><td>灰色かび病</td><td>1500 倍</td></tr>
<tr><td>うどんこ病</td><td>1500～
2000 倍</td><td rowspan="3">本圃
3 回以内</td></tr>
<tr><td>炭疽病</td><td>2000 倍</td></tr>
<tr><td>灰色かび病</td><td>1500 倍</td></tr>
<tr><td>アスパラガス</td><td>茎枯病
斑点病
褐斑病</td><td rowspan="7">2000 倍</td><td>4 回以内</td><td>4 回以内</td></tr>
<tr><td>ズッキーニ</td><td>うどんこ病</td></tr>
<tr><td>畑ワサビ
（花穂を除く）
かぶ</td><td>白さび病</td><td>収穫 7 日前まで</td><td>2 回以内</td><td>2 回以内</td></tr>
<tr><td>オクラ</td><td>うどんこ病</td><td rowspan="2">収穫前日まで</td><td rowspan="5">3 回以内</td><td rowspan="5">3 回以内</td></tr>
<tr><td>さやえんどう
実えんどう</td><td>灰色かび病</td></tr>
<tr><td rowspan="2">てんさい</td><td>根腐病</td><td>1500～
2000 倍</td><td>収穫 14 日前まで</td></tr>
<tr><td>葉腐病、褐斑病</td><td>1500 倍</td></tr>
<tr><td>茶</td><td>炭疽病、輪斑病
新梢枯死病（輪斑病菌による）、もち病</td><td>2000 倍</td><td>摘採 14 日前まで</td></tr>
</table>

②10.0%アゾキシストロビン水和剤（フロアブル）

<table>
<tr><th>作物名</th><th>適用
病害虫名</th><th>希釈
倍数</th><th>使用液量</th><th>使用時期</th><th>本剤の
使用回数</th><th>使用方
法</th><th>アゾキシストロビン
を含む農薬の
総使用回数</th></tr>
<tr><td>なし</td><td>黒星病
黒斑病
輪斑病
うどんこ病
炭疽病</td><td rowspan="13">1000 倍</td><td rowspan="15">200～700
L/10a</td><td>収穫前日まで</td><td>5 回以内</td><td rowspan="15">散布</td><td>5 回以内</td></tr>
<tr><td>ぶどう</td><td>黒とう病
灰色かび病
べと病
枝膨病
晩腐病
褐斑病
さび病</td><td>収穫 45 日前まで</td><td rowspan="12">3 回以内</td><td rowspan="12">3 回以内</td></tr>
<tr><td>おうとう</td><td>灰星病</td><td rowspan="6">収穫前日まで</td></tr>
<tr><td>もも</td><td>灰星病</td></tr>
<tr><td>ネクタリン</td><td>黒星病</td></tr>
<tr><td>いちじく</td><td>そうか病
疫病</td></tr>
<tr><td>すもも</td><td>灰星病
すす点病</td></tr>
<tr><td>うめ</td><td>黒星病</td><td>1500 倍</td></tr>
<tr><td>パッションフルーツ</td><td>円斑病</td><td rowspan="4">1000 倍</td></tr>
<tr><td>かき</td><td>うどんこ病
落葉病
炭疽病
黒点病</td><td>収穫 7 日前まで</td></tr>
<tr><td>りんご
（ふじ、王林、
ジョナゴールド、
つがる、千秋、
さんさ、紅玉、
シナノスイート、
昴林、涼香の季節）</td><td>うどんこ病</td><td>収穫 45 日前まで</td></tr>
<tr><td>びわ</td><td>炭疽病</td><td>収穫 7 日前まで</td></tr>
</table>

②10.0%アゾキシストロビン水和剤（フロアブル）（つづき）

作物名	適用 病害虫名	希釈 倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方 法	アゾキシストロビン を含む農薬の 総使用回数
マンゴー	炭疽病	1000 倍	200～700 L/10a	収穫前日まで	1 回	散布	1 回
グアバ（果実）				収穫 7 日前まで	3 回以内		3 回以内
ピタヤ	炭腐病			収穫前日まで			

③8.0%アゾキシストロビン水和剤

作物名	適用 病害虫名	希釈 倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方 法	アゾキシストロビン を含む農薬の 総使用回数
稲	いもち病 紋枯病 穂枯れ （ごま葉枯病菌）	1000～ 1500 倍	100～200 L/10a	収穫 14 日前まで	3 回以内	散布	4 回以内 （育苗箱散布は 1 回以内、本田では 3 回以内）
	稲こうじ病 穂枯れ （すじ葉枯病菌） 変色米 （カーブラリア菌） 変色米 （エピコッカム菌） 変色米 （アルタナリア菌）	1000 倍					
	いもち病 紋枯病	原液	120～150 mL/10a			空中散布	
		8 倍	800mL/10a				
		30 倍	3L/10a				
		8 倍	800mL/10a			無人 ヘリコプター による散布	
		300 倍	25L/10a			散布	

④1.5%アゾキシストロビン粒剤

作物名	適用 病害虫名	使用量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	アゾキシストロビンを含む農薬の総使用回数
稲	紋枯病	4kg/10a	出穂 10～30 日前	3 回以内	散布	4 回以内 （本田では 3 回以内）

⑤0.6%アゾキシストロビン粉剤

作物名	適用 病害虫名	使用量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	アゾキシストロビンを含む農薬の総使用回数
稲	紋枯病 穂枯れ （ごま葉枯病菌）	4kg/10a	収穫 14 日前まで	3 回以内	散布	4 回以内 （本田では 3 回以内）

⑥4.8%アゾキシストロビン・40.0%ＴＰＮ水和剤（フロアブル）

作物名	適用 病害虫名	希釈 倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用 方法	アゾキシストロビンを含む農薬の総使用回数	ＴＰＮを含む農薬の総使用回数
きゅうり	べと病 うどんこ病 褐斑病 炭疽病 灰色かび病 菌核病 黒星病	1000 倍	100～400 L/10a	収穫前日まで	4 回以内	散布	4 回以内	10 回以内 （土壌灌注は 2 回以内、 散布及びくん煙及びエアゾル剤の噴射は合計 8 回以内）
かぼちゃ	うどんこ病 べと病			収穫 7 日前まで	3 回以内			3 回以内
メロン	べと病 うどんこ病 つる枯病			収穫 3 日前まで	4 回以内			5 回以内

⑥4.8%アゾキシストロビン・40.0%ＴＰＮ水和剤（フロアブル）（つづき）

<table>
<tr><th>作物名</th><th>適用
病害虫名</th><th>希釈
倍数</th><th>使用液量</th><th>使用時期</th><th>本剤の
使用回数</th><th>使用
方法</th><th>アゾキシ
ストロビ
ンを含む
農薬の総
使用回数</th><th>ＴＰＮを
含む農薬
の総使用
回数</th></tr>
<tr><td>すいか</td><td>炭疽病
つる枯病</td><td rowspan="10">1000 倍</td><td rowspan="10">100～400
L/10a</td><td>収穫３日前まで</td><td rowspan="3">4 回以内</td><td rowspan="10">散布</td><td rowspan="7">4 回以内</td><td>5 回以内</td></tr>
<tr><td>トマト</td><td>疫病
葉かび病</td><td rowspan="2">収穫前日まで</td><td>4 回以内
（土壌灌注は
2 回以内）</td></tr>
<tr><td>なす</td><td>すすかび病
うどんこ病
褐色腐敗病
黒枯病</td><td>4 回以内</td></tr>
<tr><td>はくさい</td><td>べと病
白斑病
黒斑病</td><td>収穫 7 日前まで</td><td>2 回以内</td><td>3 回以内
（は種又は
定植前の土
壌混和は 1
回以内、散布
は 2 回以内）</td></tr>
<tr><td>だいこん</td><td>白さび病</td><td>収穫 45 日前まで</td><td>3 回以内</td><td>3 回以内</td><td>3 回以内</td></tr>
<tr><td>にんじん</td><td>黒葉枯病</td><td>収穫 21 日前まで</td><td>2 回以内</td><td>2 回以内</td><td>5 回以内
（種子への
吹き付け処
理は 1 回以
内 ）</td></tr>
<tr><td>たまねぎ</td><td>灰色かび病
べと病</td><td>収穫 7 日前まで</td><td>4 回以内</td><td rowspan="2">4 回以内</td><td>6 回以内</td></tr>
<tr><td>ねぎ</td><td>べと病
さび病
黒斑病</td><td>収穫 14 日前まで</td><td>2 回以内</td><td>3 回以内
（土壌灌注は
2 回以内、
散布は
2 回以内）</td></tr>
<tr><td>にんにく</td><td>さび病</td><td>収穫 7 日前まで</td><td>3 回以内</td><td>3 回以内</td><td>6 回以内</td></tr>
</table>

（２）ブラジルにおける使用方法

作物名	適用 病害虫名	使用量	使用時期	本剤の 使用回数	使用 方法
コーヒー	褐眼病 さび病	0.05kg/ha	収穫 21 日前まで	4 回以内	散布
	褐眼病 さび病 *Phoma costarricensis*				土壌灌注

６．作物残留試験結果

（１）分析の概要

① 分析対象の化合物

アゾキシストロビン

② 分析法の概要

試料をアセトンで抽出後、多孔性けいそう土カラムクロマトグラフィー、ヘキサン・アセトニトリルで分配し、フロリジルカラムクロマトグラフィー及びシリカゲルカラムクロマトグラフィーで精製し、高速液体クロマトグラフィーで定量する。

検出限界 0.003～0.5ppm。

（２）作物残留試験結果

①稲

稲（玄米）を用いた作物残留試験(2 例)において、6%粒剤を 50g/箱（箱施用）、及び 1.5%粒剤を計 3 回散布（4kg/10a）したところ、散布後 35～50 日の最大残留量[注1)]は<0.01, <0.01 ppm であった。ただし、この試験は、適用範囲内で行われていない。

稲（玄米）を用いた作物残留試験(2 例)において、6%粒剤を 50g/箱（箱施用）、及び 0.6%粒剤を計 3 回散布（4kg/10a）したところ、散布後 14～28 日の最大残留量は 0.01, 0.02 ppm であった。ただし、この試験は、適用範囲内で行われていない。

稲（玄米）を用いた作物残留試験(2 例)において、6%粒剤を 50g/箱（箱施用）、及び 8%フロアブルの 1,000 倍希釈液を計 3 回散布（150L/10a）したところ、散布後 13[注2)]～28 日の最大残留量は 0.04, 0.02 ppm であった。ただし、この試験は、適用範囲内で行われていない。

稲（玄米）を用いた作物残留試験(2 例)において、6%粒剤を 50g/箱（箱施用）、及び 8%フロアブルの 1,000 倍希釈液を計 3 回散布（150L/10a）したところ、散布後 14 日の最大残留量は 0.03, 0.04 ppm であった。ただし、この試験は、適用範囲内で行われていない。

稲（玄米）を用いた作物残留試験(2 例)において、6%粒剤を 50g/箱（箱施用)、及び 8%フロアブルの８倍希釈液を計 3 回無人ヘリ散布(800mL/10a)したところ、散布後 14 日の最大残留量は<0.01，0.02 ppm であった。ただし、この試験は、適用範囲内で行われていない。

稲（玄米）を用いた作物残留試験(2 例)において、6%粒剤を 50g/箱（箱施用)、及び 20%フロアブルの 500 倍希釈液を計 3 回散布（25L/10a）したところ、散布後 14～21 日の最大残留量は 0.02，0.02 ppm であった。ただし、この試験は、適用範囲内で行われていない。

稲（稲わら）を用いた作物残留試験(2 例)において、6%粒剤を 50g/箱（箱施用)、及び 1.5%粒剤を計 3 回散布（4kg/10a）したところ、散布後 35～50 日の最大残留量は 0.84，0.99 ppm であった。ただし、この試験は、適用範囲内で行われていない。

稲（稲わら）を用いた作物残留試験(2 例)において、6%粒剤を 50g/箱（箱施用)、及び 0.6%粒剤を計 3 回散布（4kg/10a）したところ、散布後 14～28 日の最大残留量は 1.14，0.54 ppm であった。ただし、この試験は、適用範囲内で行われていない。

稲（稲わら）を用いた作物残留試験(2 例)において、6%粒剤を 50g/箱（箱施用)、及び 8%フロアブルの 1,000 倍希釈液を計 3 回散布（150L/10a）したところ、散布後 13 [注2)]～28 日の最大残留量は 0.54，0.94 ppm であった。ただし、この試験は、適用範囲内で行われていない。

稲（稲わら）を用いた作物残留試験(2 例)において、6%粒剤を 50g/箱（箱施用)、及び 8%フロアブルの 1,000 倍希釈液を計 3 回散布（150L/10a）したところ、散布後 14 日の最大残留量は 0.52，0.94 ppm であった。ただし、この試験は、適用範囲内で行われていない。

稲（稲わら）を用いた作物残留試験(2 例)において、6%粒剤を 50g/箱（箱施用)、及び 8%フロアブルの８倍希釈液を計 3 回無人ヘリ散布(800mL/10a)したところ、散布後 14 日の最大残留量は 0.64，1.64 ppm であった。ただし、この試験は、適用範囲内で行われていない。

稲（稲わら）を用いた作物残留試験(2 例)において、6%粒剤を 50g/箱（箱施用)、及び 20%フロアブルの 500 倍希釈液を計 3 回散布（25L/10a）したところ、散布後 14～21 日の最大残留量は 2.32，1.07 ppm であった。ただし、この試験は、適用範囲内で行われていない。

②小麦

小麦（種子）を用いた作物残留試験(2 例)において、20%フロアブルの原液を 8mL/kg（種子処理)、並びに 800 倍希釈液（根雪前）及び 2,000 倍希釈液を計 3 回散布（いずれも 100L/10a）したところ、散布後 7～21 日の最大残留量は 0.02，0.10 ppm であった。ただし、この試験は、適用範囲内で行われていない。

③だいず

だいず(乾燥子実)を用いた作物残留試験(2例)において、20%フロアブルの2,000倍希釈液を計3回散布（200～250L/10a）したところ、散布後7～21日の最大残留量は0.02，0.01 ppmであった。

だいず（乾燥子実）を用いた作物残留試験(2 例)において、20%フロアブルの 8倍希釈液を計2回無人ヘリ散布（800mL/10a）したところ、散布後２１日の最大残留量は<0.01，0.01 ppmであった。ただし、この試験は、適用範囲内で行われていない。

④あずき

あずき(乾燥子実)を用いた作物残留試験(2例)において、20%フロアブルの2,000倍希釈液を計 3 回散布（120L/10a）したところ、散布後 7～21 日の最大残留量は0.01，0.01 ppmであった。

⑤いんげんまめ

いんげんまめ(乾燥子実)を用いた作物残留試験(2 例)において、20%フロアブルの 2,000 倍希釈液を計 3 回散布（150～300L/10a）したところ、散布後 160～175日の最大残留量は<0.01，<0.01 ppm であった。ただし、この試験は、適用範囲内で行われていない。

⑥てんさい

てんさい（根部）を用いた作物残留試験(2 例)において、20%フロアブルの 1,500倍希釈液を計3回散布（200L/10a）したところ、散布後14～30日の最大残留量は<0.01，<0.01 ppmであった。

てんさい（根部）を用いた作物残留試験(2 例)において、17%フロアブルの 1,000倍希釈液を計３回散布（150L/10a）したところ、散布後14～28日の最大残留量は<0.01，<0.01 ppmであった。ただし、この試験は、適用範囲内で行われていない。

⑦だいこん

だいこん（根部）を用いた作物残留試験(2 例)において、20%フロアブルの 2,000倍希釈液を計 3 回散布（107～250L/10a）したところ、散布後 14～28 日の最大残留量は<0.01，<0.01 ppmであった。

だいこん（葉部）を用いた作物残留試験(2 例)において、20%フロアブルの 2,000倍希釈液を計 3 回散布（107～250L/10a）したところ、散布後 14～28 日の最大残留量は0.44，0.14 ppmであった。

⑧かぶ

かぶ（茎葉）を用いた作物残留試験(2 例)において、20%フロアブルの 2,000 倍希釈液を計2回散布(200L/10a)したところ、散布後7～21日の最大残留量は2.36，8.64 ppmであった。

かぶ（根茎）を用いた作物残留試験(2 例)において、20%フロアブルの 2,000 倍希釈液を計 2 回散布(200L/10a)したところ、散布後 7～21 日の最大残留量は 0.02, 0.04 ppm であった。

⑨はくさい

はくさい（茎葉）を用いた作物残留試験(1 例)において、20%フロアブルの原液を 8mL/kg（吹付コーティング）、及び 2,000 倍希釈液を計 4 回散布（300L/10a）したところ、散布後 7～21 日の最大残留量は 0.10 ppm であった。ただし、この試験は、適用範囲内で行われていない。

はくさい（茎葉）を用いた作物残留試験(2 例)において、20%フロアブルの 2,000 倍希釈液を計 2 回散布（200L/10a）したところ、散布後 7～21 日の最大残留量は 0.06 ppm であった。

⑩キャベツ

キャベツ（葉球）を用いた作物残留試験(2 例)において、20%フロアブルの 2,000 倍希釈液を計 4 回散布（200L/10a）したところ、散布後 7～21 日の最大残留量は 0.08, <0.01 ppm であった。

⑪こまつな

こまつな（果実）を用いた作物残留試験(2 例)において、20%フロアブルの 2,000 倍希釈液を計 2 回散布（214～400L/10a）したところ、散布後 21 日の最大残留量は<0.1, 2.5 ppm であった。

⑫大山そだち

大山そだち(茎葉)を用いた作物残留試験(2 例)において、20%フロアブルの 2,000 倍希釈液を計 2 回散布（300L/10a）したところ、散布後 21 日の最大残留量は 0.76, 2.19 ppm であった。

⑬サガミグリーン

サガミグリーン（茎葉）を用いた作物残留試験(2 例)において、20%フロアブルの 2,000 倍希釈液を計 2 回散布（300L/10a）したところ、散布後 21 日の最大残留量は 0.86, 0.92 ppm であった。

⑭しろな

しろな（茎葉）を用いた作物残留試験(2 例)において、20%フロアブルの 2,000 倍希釈液を計 1 回散布（200L/10a）したところ、散布後 14 日の最大残留量は 0.12, 2.34 ppm であった。

⑮畑わさび（花穂を除く）

畑わさび（茎葉）を用いた作物残留試験(2 例)において、20%フロアブルの 2,000 倍希釈液を計 2 回散布（300L/10a）したところ、散布後 7～28 日の最大残留量は 5.86，11.8 ppm であった。

畑わさび（根茎）を用いた作物残留試験(2 例)において、20%フロアブルの 2,000 倍希釈液を計 2 回散布（300L/10a）したところ、散布後 7～28 日の最大残留量は 0.82，0.73 ppm であった。

⑯エンダイブ

エンダイブ(茎葉)を用いた作物残留試験(2 例)において、20%フロアブルの 2,000 倍希釈液を計 1 回散布（200L/10a）したところ、散布後 21～35 日の最大残留量は <0.05，1.18 ppm であった。

⑰レタス

レタス（茎葉）を用いた作物残留試験(2 例)において、20%フロアブルの 2,000 倍希釈液を計 4 回散布（200～300L/10a）したところ、散布後 7～21 日の最大残留量は 1.52，2.94 ppm であった。

レタス（茎葉）を用いた作物残留試験(2 例)において、20%フロアブルの 2,000 倍希釈液を 3000L/10a（土壌灌注）及び 2,000 倍希釈液を計 2 回茎葉散布（200～300L/10a）したところ、散布後 7～14 日の最大残留量は 2.4，2.5 ppm であった。

⑱たまねぎ

たまねぎ（鱗茎）を用いた作物残留試験(2 例)において、20%フロアブルの 1,500 倍希釈液を計 4 回散布（200L/10a）したところ、散布後 1～14 日の最大残留量は 0.02，<0.01 ppm であった。ただし、この試験は、適用範囲内で行われていない。

⑲根深ねぎ

根深ねぎ（茎葉）を用いた作物残留試験(2 例)において、20%フロアブルの 2,000 倍希釈液を計 4 回散布（180～300L/10a）したところ、散布後 3～14 日の最大残留量は 0.96，0.20 ppm であった。

⑳葉ねぎ

葉ねぎ（茎葉）を用いた作物残留試験(2 例)において、20%フロアブルの 2,000 倍希釈液を計 4 回散布（300L/10a）したところ、散布後 3～14 日の最大残留量は 1.42，1.20 ppm であった。

㉑にんにく

にんにく（鱗茎）を用いた作物残留試験(2 例)において、20%フロアブルの 2,000 倍希釈液を計 3 回散布（300，150L/10a）したところ、散布後 7～21 日の最大残留量は<0.01，<0.01 ppm であった。

㉒にら

にら（茎葉）を用いた作物残留試験(2 例)において、20%フロアブルの 2,000 倍希釈液を計 2 回散布（150～200L/10a）したところ、散布後 14 日の最大残留量は 1.10, 2.42 ppm であった。

㉓アスパラガス

アスパラガス(茎)を用いた作物残留試験(2 例)において、20%フロアブルの 2,000 倍希釈液を計 2 回散布（250～300L/10a）したところ、散布後 1～7 日の最大残留量は 0.83, 0.13 ppm であった。

㉔らっきょう

らっきょう(鱗茎)を用いた作物残留試験(2 例)において、20%フロアブルの 2,000 倍希釈液を計 2 回散布（150L/10a）したところ、散布後 3～14 日の最大残留量は 0.02, 0.02 ppm であった。

㉕にんじん

にんじん(根部)を用いた作物残留試験(2 例)において、4.8%フロアブルの 1,000 倍希釈液を計 2 回散布（200～400L/10a）したところ、散布後 21～28 日の最大残留量は 0.02, <0.01 ppm であった。

㉖パセリ

パセリ（茎葉）を用いた作物残留試験(2 例)において、20%フロアブルの 2,000 倍希釈液を計 1 回散布（250L/10a）したところ、散布後 45～60 日の最大残留量は 0.05, 0.33 ppm であった。

㉗みつば

みつば（茎葉）を用いた作物残留試験(2 例)において、20%フロアブルの 2,000 倍希釈液を計 1 回散布（100L/10a）したところ、散布後 14～21 日の最大残留量は 1.6, 1.7 ppm であった。

㉘トマト

トマト（果実）を用いた作物残留試験(2 例)において、20%フロアブルの 1,500 倍希釈液を計 4 回散布(300L/10a)したところ、散布後 1～8 日の最大残留量は 0.40, 0.09 ppm であった。ただし、この試験は、適用範囲内で行われていない。

㉙ピーマン

ピーマン（果実）を用いた作物残留試験(2 例)において、20%フロアブルの 2,000 倍希釈液を計 4 回散布(200L/10a)したところ、散布後 1～7 日の最大残留量は 1.18, 1.28 ppm であった。

㉚なす

なす（果実）を用いた作物残留試験(2 例)において、20%フロアブルの 2,000 倍希釈液を計 4 回散布（300L/10a）したところ、散布後 1～7 日の最大残留量は 0.26, 0.58 ppm であった。

㉛きゅうり

きゅうり（果実）を用いた作物残留試験(2 例)において、20%フロアブルの 1000 倍希釈液を 100mL/株（株元灌注）、及び 1,500 倍希釈液を計 3 回散布（150～300L/10a）したところ、散布後 1～7 日の最大残留量は 0.20, 0.48 ppm であった。ただし、これらの試験は適用範囲内で行われていない。

㉜かぼちゃ

かぼちゃ（果実）を用いた作物残留試験(2 例)において、20%フロアブルの 2,000 倍希釈液を計 4 回散布（293.3～300L/10a）したところ、散布後 1～14 日の最大残留量は 0.3, 0.3 ppm であった。ただし、これらの試験は適用範囲内で行われていない。

㉝すいか

すいか（果実）を用いた作物残留試験(2 例)において、20%フロアブルの 2,000 倍希釈液を計 4 回散布（168～300L/10a）したところ、散布後 1～7 日の最大残留量は 0.01, <0.01 ppm であった。

㉞メロン

メロン（果実）を用いた作物残留試験(2 例)において、20%フロアブルの 2,000 倍希釈液を計 4 回散布(300L/10a)したところ、散布後 1～7 日の最大残留量は<0.01, <0.01 ppm であった。

㉟オクラ

オクラ（茎葉）を用いた作物残留試験(2 例)において、20%フロアブルの 2,000 倍希釈液を計 2 回散布（180～250L/10a）したところ、散布後 1～7 日の最大残留量は 1.22, 1.06 ppm であった。

㊱さやえんどう

さやえんどう（さや）を用いた作物残留試験(2 例)において、20%フロアブルの 2,000 倍希釈液を計 3 回散布（200L/10a）したところ、散布後 1～7 日の最大残留量は 0.28, 1.30 ppm であった。

㊲みょうが

みょうが（花穂）を用いた作物残留試験(2 例)において、20%フロアブルの 2,000 倍希釈液を計 4 回散布（3000L/10a）したところ、散布後 3～14 日の最大残留量は

0.50, 0.34 ppm であった。ただし、これらの試験は適用範囲内で行われていない。

㊳りんご

りんご（果実）を用いた作物残留試験(2 例)において、10%フロアブルの 1,000 倍希釈液を計 5 回散布(500L/10a)したところ、散布後 42 日の最大の残留量は 0.23, 0.03 ppm であった。ただし、これらの試験は適用範囲内で行われていない。

㊴日本なし

日本なし（果実）を用いた作物残留試験(2 例)において、10%フロアブルの 1,000 倍希釈液を計 5 回散布（500L/10a）したところ、散布後 14～42 日の最大残留量は 0.60, 0.36 ppm であった。

日本なし（果実）を用いた作物残留試験(2 例)において、10%フロアブルの 1,000 倍希釈液を計 5 回散布(500L/10a)したところ、散布後 1～7 日の最大残留量は 0.68, 0.35 ppm であった。

㊵もも

もも（果実）を用いた作物残留試験(2 例)において、10%フロアブルの 1,000 倍希釈液を計 3 回散布（500L/10a）したところ、散布後 1～7 日の最大残留量は<0.01, 0.01 ppm であった。

もも（果皮）を用いた作物残留試験(2 例)において、10%フロアブルの 1,000 倍希釈液を計 3 回散布（500L/10a）したところ、散布後 1～7 日の最大残留量は 2.57, 6.42 ppm であった。

㊶ネクタリン

ネクタリン(果実)を用いた作物残留試験(2 例)において、10%フロアブルの 1,000 倍希釈液を計 3 回散布（400L/10a）したところ、散布後 1～14 日の最大残留量は 0.5, 1.4 ppm であった。

㊷すもも

すもも（果実）を用いた作物残留試験(2 例)において、10%フロアブルの 1,000 倍希釈液を計 3 回散布（300～400L/10a）したところ、散布後 1～14 日の最大残留量は 0.12, 0.09 ppm であった。

㊸おうとう

おうとう（果実）を用いた作物残留試験(2 例)において、10%フロアブルの 1,000 倍希釈液を計 3 回散布（300～400L/10a）したところ、散布後 1～14 日の最大残留量は 1.30, 0.47 ppm であった。

㊹いちご

いちご（果実）を用いた作物残留試験(1 例)において、20%フロアブルの 1,500

～2,000 倍希釈液を計 5 回散布（300L/10a）及び 1,000 倍希釈液を計 3 回土壌灌注（100mL/株）したところ、散布後 1～7 日の最大残留量は 1.20 ppm であった。ただし、これらの試験は適用範囲内で行われていない。

いちご（果実）を用いた作物残留試験(1 例)において、20%フロアブルの 1,500～2,000 倍希釈液を計 8 回散布（300L/10a）したところ、散布後 1～8 日の最大残留量は 1.18 ppm であった。ただし、これらの試験は適用範囲内で行われていない。

㊺ぶどう

ぶどう（果実）を用いた作物残留試験(2 例)において、10%フロアブルの 100 倍希釈液を 300～500L/10a(休眠期散布)及び 1,000 倍希釈液を計 3 回散布(500L/10a)したところ、散布後 45～75 日の最大残留量は 4.22, 1.68 ppm であった。ただし、これらの試験は適用範囲内で行われていない。

㊻かき

かき（果実）を用いた作物残留試験(2 例)において、10%フロアブルの 1,000 倍希釈液を計 3 回散布（300, 400L/10a）したところ、散布後 7～21 日の最大残留量は 0.05, 0.36 ppm であった。

㊼パッションフルーツ

パッションフルーツ（果実）を用いた作物残留試験(2 例)において、10%フロアブルの 1,000 倍希釈液を計 3 回散布（300L/10a）したところ、散布後 1～7 日の最大残留量は 0.33, 0.30 ppm であった。

㊽いちじく

いちじく（果実）を用いた作物残留試験(2 例)において、10%フロアブルの 1,000 倍希釈液を計 3 回散布（230～300L/10a）したところ、散布後 1～14 日の最大残留量は 0.25, 0.57 ppm であった。

㊾茶

茶（荒茶）を用いた作物残留試験(4 例)において、20%フロアブルの 2,000 倍希釈液を計 3 回散布（200L/10a）したところ、散布後 14～21 日の最大残留量は 4.75, 2.62, 0.80, 3.46 ppm であった。

茶（浸出液）を用いた作物残留試験(4 例)において、20%フロアブルの 2,000 倍希釈液を計 3 回散布(200L/10a)したところ、散布後 14～21 日の最大残留量は 2.50, 1.34, 0.42, 1.28 ppm であった。

㊿びわ

びわ（果実）を用いた作物残留試験(2 例)において、10%フロアブルの 1,000 倍希釈液を計 3 回散布(400L/10a)したところ、散布後 7～21 日の最大残留量は 0.017, 0.008 ppm であった。

㊶うめ

うめ（果実）を用いた作物残留試験(2 例)において、10%フロアブルの 1,500 倍希釈液を計 3 回散布（250～300L/10a）したところ、散布後 1～14 日の最大残留量は 0.6, 0.7 ppm であった。

㊷わけぎ

わけぎ（茎葉）を用いた作物残留試験(2 例)において、20%フロアブルの 2,000 倍希釈液を計 4 回散布（150～400L/10a）したところ、散布後 7～14 日の最大残留量は 0.1, 0.4 ppm であった。

㊸あさつき

あさつき（茎葉）を用いた作物残留試験(2 例)において、20%フロアブルの 2,000 倍希釈液を計 4 回散布（150～200L/10a）したところ、散布後 3～14 日の最大残留量は 1.5, 0.8 ppm であった。

㊹シソ

シソ（葉）を用いた作物残留試験(2 例)において、20%フロアブルの 2,000 倍希釈液を計 2 回株元散布(200L/10a)したところ、散布後 1～7 日の最大残留量は 0.11, 0.04 ppm であった。

㊺せり

せり（茎葉）を用いた作物残留試験(2 例)において、20%フロアブルの 2,000 倍希釈液を計 4 回散布（200L/10a）したところ、散布後 7～21 日の最大残留量は 0.7, 0.8 ppm であった。

㊻マンゴー

マンゴー（果実）を用いた作物残留試験(2 例)において、10%フロアブルの 1,000 倍希釈液を計 1 回散布(200L/10a)したところ、散布後 1～7 日の最大残留量は 0.4, 0.5 ppm であった。

㊼クレソン

クレソン（茎葉）を用いた作物残留試験(2 例)において、20%フロアブルの 2,000 倍希釈液を計 3 回散布（150L/10a）したところ、散布後 21 日の最大残留量は<0.20, 0.26 ppm であった。

㊽葉ごぼう

葉ごぼう（植物体全体）を用いた作物残留試験(2 例)において、20%フロアブルの 2,000 倍希釈液を計 1 回散布（200L/10a）したところ、散布後 21～28 日の最大残留量は 2.2, 1.6 ppm であった。

⑲ホトケノザ

ホトケノザ(茎葉)を用いた作物残留試験(1例)において、20%フロアブルの2,000倍希釈液を計1回散布（150L/10a）したところ、散布後30～60日の最大残留量は0.86 ppmであった。

⑳ゴギョウ

ゴギョウ（茎葉）を用いた作物残留試験(1例)において、20%フロアブルの2,000倍希釈液を計1回散布（150L/10a）したところ、散布後30～60日の最大残留量は0.36 ppmであった。

㉑みずな

みずな（茎葉）を用いた作物残留試験(2例)において、20%フロアブルの2,000倍希釈液を計2回散布（265～391L/10a）したところ、散布後21日の最大残留量は0.4, 2.4 ppmであった。

㉒ズッキーニ

ズッキーニ(果実)を用いた作物残留試験(2例)において、20%フロアブルの2,000倍希釈液を計4回散布(250L/10a)したところ、散布後1～7日の最大残留量は0.2, 0.2 ppmであった。

㉓グァバ

グァバ（果実）を用いた作物残留試験(2例)において、10%フロアブルの1,000倍希釈液を計3回散布（139L/10a）したところ、散布後7～21日の最大残留量は0.03, 0.08 ppmであった。ただし、これらの試験は適用範囲内で行われていない。

㉔ピタヤ

ピタヤ（果実）を用いた作物残留試験(2例)において、10%フロアブルの1,000倍希釈液を計3回散布（188L/10a）したところ、散布後1～14日の最大残留量は1.38, 0.26 ppmであった。ただし、これらの試験は適用範囲内で行われていない。

これらの試験結果の概要については、別紙1－1を参照。

また、海外で実施された作物残留試験成績の結果の概要については、別紙1－2を参照。

注1) 最大残留量：当該農薬の申請の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験（いわゆる最大使用条件下の作物残留試験）を実施し、それぞれの試験から得られた残留量。

（参考：平成10年8月7日付「残留農薬基準設定における暴露評価の精密化に関する意見具申」）

注2) 経過日数13日の試験については、本来最大使用条件下として定められた14日の試験成績の誤差範囲内とみなし、当該試験成績を暴露評価の対象としている。

７．乳牛における残留試験

乳牛に対してアゾキシストロビン0、5、25、75、250ppmを含有する濃厚飼料(20kg/day)を牧草と共に27～30日間にわたり摂食させ（それぞれ0、100、500、1500、5000mg／頭／day に相当)、牛乳、皮下脂肪、腹腔内脂肪、胸筋、大腿部の内転筋、肝臓及び腎臓に含まれるアゾキシストロビン含量を測定したところ、下記のとおりであった。なお、牛乳については、投与開始後1、3、5、7、12、14、17、21、26、29、30、31日目に搾乳したものを測定した。(検出限界：牛乳 0.001ppm、牛乳以外 0.01ppm)

上記の結果に関連して、米国では肉牛、乳牛及び豚における最大理論的飼料由来負荷（ＭＴＤＢ）[注3]はそれぞれ74ppm、106ppm、10ppmと評価している。また、オーストラリアにおいては家畜へのＭＴＤＢを20.3ppmと評価している。

表．組織中の最大残留（ppm）

	5ppm 投与群	25ppm 投与群	75ppm 投与群	250ppm 投与群
大腿部内転筋	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
胸筋	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
肝臓	<0.01	0.01	0.05	0.07
腎臓	<0.01	<0.01	0.01	0.02
腹腔内脂肪	<0.01	<0.01	0.03	0.03
皮下脂肪	<0.01	<0.01	0.02	0.02
牛乳	0.003	0.006	0.004	0.009

注 3）最大理論的飼料由来負荷（Maximum Theoretical Dietary Burden：ＭＴＤＢ）：飼料として用いられる全ての飼料品目に残留基準まで残留していると仮定した場合に、飼料の摂取によって畜産動物が暴露されうる最大量のこと。飼料中残留濃度として表示される。

（参考：Residue Chemistry Test Guidelines OPPTS 860.1480 Meat/Milk/Poultry/Eggs）

８．産卵鶏における残留試験

産卵鶏に対してアゾキシストロビン0、6、18、60ppm（0、0.72、2.16、7.2mg／鶏／day）を含有する飼料を28日間にわたり摂食させ、筋肉、肝臓及び脂肪中のアゾキシストロビン含量を測定したところ最高投与群においていずれも＜0.01ppmであった。また、鶏卵についても投与開始後1、3、7、10、14、18、21、25、28日に採卵し分析したところ、最高投与群においていずれも＜0.01ppmであった。

上記の結果に関連して、米国ではＭＴＤＢは7ppmとして、オーストラリアでは0.003ppmと評価している。

９．ＡＤＩの評価

食品安全基本法（平成15年法律第48号）第24条第1項第1号の規定に基づき、平成16年11月30日付厚生労働省発食安第1130001号及び同法第24条第2項の規定に基づき、平成18年7月18日付厚生労働省発食安第0718005号により食品安全委員会あて意見を求めたアゾキシストロビンに係る食品健康影響評価について、以下のとおり評価されている。

無毒性量：18.2 mg/kg 体重/day
(動物種)　ラット
(投与方法)　混餌投与
(試験の種類／期間)慢性毒性/発がん性併合試験／2年間
安全係数：100
ＡＤＩ：0.18 mg/kg 体重/day

１０．諸外国における状況

ＪＭＰＲ における毒性評価はなされておらず、国際基準も設定されていない。

米国、カナダ、欧州連合（ＥＵ）、オーストラリア及びニュージーランドについて調査した結果、米国（アスパラガス、大麦等）、オーストラリア（アボカド、バナナ等）、ニュージーランド（大豆、ぶどう等）、カナダ（ぶどう、なたね等）及びＥＵ（ラズベリー、にんじん等）において基準値が設定されている。

１１．基準値案

（１）残留の規制対象

アゾキシストロビン本体

海外の作物残留試験においてメチル＝（Ｚ）-2-｛2-［6-（2-シアノフェノキシ）ピリミジン-4-イルオキシ］フェニル｝-3-メトキシアクリラート（以下、「Ｚ体」という。）が検出されており、米国等においてＺ体も含めて規制を行っているが、海外の作物残留試験成績のうち大部分がアゾキシストロビンの 10%未満にとどまっていること及び国内の作物残留試験においてＺ体について分析を行った試験（10 試験）においては、いずれも検出限界未満（0.01ppm）であることから、Ｚ体については規制対象として含めないこととする。

なお、食品安全委員会によって作成された農薬評価書においては、暴露評価対象物質としてアゾキシストロビンを設定している。

（２）基準値案

別紙2のとおりである。

別紙 2 中でさとうきび及びカカオ豆については、現行 0.02ppm の基準値を設定しているが、これは、本来、食品衛生法第 11 条第 3 項の規定に基づき、「人の健康を損な

うおそれのない量として厚生労働大臣が薬事・食品衛生審議会の意見を聴いて定める量」（一律基準）である 0.01ppm で規制するところ、分析法の状況を考慮し、0.01ppm までの分析が困難と考えられたことから 0.02ppm の残留基準を設定したものである。今回、本剤については 0.01ppm までの分析が可能となったことから、0.02ppm の基準を削除し、一律基準（0.01ppm）で規制することとした。

また、乳に対しては複数の海外基準を参考に一律基準（0.01ppm）より低い基準である 0.008ppm の基準値を設定したことに伴い、同じ畜水産物である魚介類及びはちみつに対して本来一律基準（0.01ppm）で規制するところ、0.008ppm の基準値を設定した。乳牛における残留試験の結果から、乳の基準値を見直すことに合わせ、これらの基準値についても検討を行い、魚介類及びはちみつについては一律基準で規制することとする。

（３）暴露評価

各食品について基準値案の上限まで又は作物残留試験成績等のデータから推定される量のアゾキシストロビンが残留していると仮定した場合、国民栄養調査結果に基づき試算される、1 日当たり摂取する農薬の量（理論最大摂取量（ＴＭＤＩ））のＡＤＩに対する比は、以下のとおりである。詳細な暴露評価は別紙 3 参照。

なお、本暴露評価は、各食品分類において、加工・調理による残留農薬の増減が全くないとの仮定の下におこなった。

	理論最大摂取量（ＴＭＤＩ）／ＡＤＩ（%）注 4)
国民平均	27.1
幼小児（1～6 歳）	51.7
妊婦	20.7
高齢者（65 歳以上）	29.2

注 4）ＴＭＤＩ試算は、基準値案×摂取量の総和として計算している。

（４）本剤については、平成 17 年 11 月 29 日付け厚生労働省告示第 499 号により、食品一般の成分規格 7 に食品に残留する量の限度（暫定基準）が定められているが、今般、残留基準の見直しを行うことに伴い、暫定基準は削除される。

（別紙１－１）

アゾキシストロビン作物残留試験一覧表

農作物	試験圃場数	試験条件				最大残留量（ppm）
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
稲※ （玄米）	2	6%粒剤＋ 1.5%粒剤	50g/箱（箱施用） +4kg/10a 散布	4回	39,41,50日 35,39,46日	圃場A:<0.01(#)(4回、39日) 圃場B:<0.01(#)(4回、35日)
稲※ （玄米）	2	6%粒剤＋ 0.6%粒剤	50g/箱（箱施用） +4kg/10a 散布	4回	14,21,28日 14,21,28日	圃場A:0.01(#)(4回、14日) 圃場B:0.02(#)(4回、14日)
稲※ （玄米）	2	6%粒剤＋ 8%フロアブル	50g/箱(箱施用)+ 1,000倍散布 150L/10a	4回	13,20,27日 14,21,28日	圃場A:0.04(#)(4回、13日) 圃場B:0.02(#)(4回、28日)
稲※ （玄米）	2	6%粒剤＋ 8%フロアブル	50g/箱(箱施用)+ 1,000倍散布 150L/10a	4回	14日	圃場A:0.03(#) 圃場B:0.04(#)
稲※ （玄米）	2	6%粒剤＋ 8%フロアブル	50g/箱(箱施用)+ 8倍無人ヘリ散布 800mL/10a	4回	14日	圃場A:<0.01(#) 圃場B:0.02(#)
稲※ （玄米）	2	6%粒剤＋ 20%フロアブル	50g/箱(箱施用)+ 500倍散布 25L/10a	4回	14,21日	圃場A:0.02(#)(4回、14日) 圃場B:0.02(#)(4回、21日)
稲 （稲わら）	2	6%粒剤＋ 1.5%粒剤	50g/箱（箱施用） +4kg/10a 散布	4回	39,41,50日 35,39,46日	圃場A:0.84(#)(4回、41日) 圃場B:0.99(#)(4回、35日)
稲 （稲わら）	2	6%粒剤＋ 0.6%粒剤	50g/箱（箱施用） +4kg/10a 散布	4回	14,21,28日 14,21,28日	圃場A:1.14(#)(4回、14日) 圃場B:0.54(#)(4回、14日)
稲 （稲わら）	2	6%粒剤＋ 8%フロアブル	50g/箱(箱施用)+ 1,000倍散布 150L/10a	4回	13,20,27日 14,21,28日	圃場A:0.54(#)(4回、20日) 圃場B:0.94(#)(4回、14日)
稲 （稲わら）	2	6%粒剤＋ 8%フロアブル	50g/箱(箱施用)+ 1,000倍散布 150L/10a	4回	14日	圃場A:0.52(#) 圃場B:0.94(#)
稲 （稲わら）	2	6%粒剤＋ 8%フロアブル	50g/箱(箱施用)+ 8倍無人ヘリ散布 800mL/10a	4回	14日	圃場A:0.64(#) 圃場B:1.64(#)
稲 （稲わら）	2	6%粒剤＋ 20%フロアブル	50g/箱(箱施用)+ 500倍散布 25L/10a	4回	14,21日	圃場A:2.32(#)(4回、14日) 圃場B:1.07(#)(4回、14日)
小麦※ （種子）	2	20%フロアブル	原液 8mL/kg(種子処理) +800倍根雪前散布 100L/10a +2000倍散布　100L/10a	5回	7,14,21日	圃場A:0.02(#) 圃場B:0.10(#)
だいず （乾燥子実）	2	20%フロアブル	2000倍散布 200～250L/10a	3回	7,14,21日	圃場A:0.02 圃場B:0.01
だいず （乾燥子実）	2	20%フロアブル	8倍無人ヘリ散布 800mL/10a	2回	21日	圃場A:<0.01(#) 圃場B:<0.01(#)
あずき （乾燥子実）	2	20%フロアブル	2000倍散布 120L/10a	3回	7,14,21日	圃場A:0.01 圃場B:0.01(3回、14日)
いんげんまめ （乾燥子実）	2	20%フロアブル	2000倍散布 150～300L/10a	3回	7,14,21日	圃場A:<0.01(#) 圃場B:<0.01(#)
てんさい （根部）	2	20%フロアブル	1500倍散布 200L/10a	3回	14,21,30日	圃場A:<0.01 圃場B:<0.01
てんさい （根部）	2	17%フロアブル	1000倍散布 150L/10a	3回	14,21,30日	圃場A:<0.01(#) 圃場B:<0.01(#)
だいこん （根部）	2	20%フロアブル	2000倍散布 107～250L/10a	3回	14,21,28日	圃場A:<0.01 圃場B:<0.01
だいこん （葉部）	2	20%フロアブル	2000倍散布 107～250L/10a	3回	14,21,28日	圃場A:0.44 圃場B:0.14
かぶ※ （茎葉）	2	20%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	2回	7,14,21日	圃場A:2.36 圃場B:8.64

農作物	試験圃場数	試験条件				最大残留量（ppm）
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
かぶ （根茎）	2	20%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	2回	7, 14, 21日	圃場A:0.02 圃場B:0.04(2回、14日)
はくさい （茎葉）	1	20%フロアブル	原液 8mL/kg （吹付コーティング） +2000倍散布　300L/10a	5回	7, 14, 21日	圃場A:0.10(#)(5回、7日)
はくさい （茎葉）	1	20%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	4回	7, 14, 21日	圃場A:0.06
キャベツ （葉球）	2	20%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	4回	7, 14, 21日	圃場A:0.08 圃場B:<0.01
こまつな （茎葉）	2	20%フロアブル	2000倍散布 214～400L/10a	2回	21日	圃場A:<0.1 圃場B:2.5
大山そだち （茎葉）	2	20%フロアブル	2000倍散布 300L/10a	2回	21日	圃場A:0.76 圃場B:2.19
サガミグリーン （茎葉）	1	20%フロアブル	2000倍散布 300L/10a	2回	21日	圃場A:0.86 圃場B:0.92
しろな （茎葉）	2	20%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	1回	14日	圃場A:0.12 圃場B:2.34
畑わさび （茎葉）	2	20%フロアブル	2000倍散布 300L/10a	2回	7, 14, 28日	圃場A:5.86 圃場B:11.8
畑わさび （根茎）	2	20%フロアブル	2000倍散布 300L/10a	2回	7, 14, 28日	圃場A:0.82(2回、14日) 圃場B:0.73
エンダイブ （茎葉）	2	20%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	1回	21, 28, 35日	圃場A:<0.05 圃場B:1.18
レタス （茎葉）	2	20%フロアブル	2000倍散布 200～300L/10a	4回	7, 14, 21日	圃場A:1.52 圃場B:2.94(4回、14日)
レタス （茎葉）	2	20%フロアブル	2000倍土壌灌注 3000L/10a+茎葉散布 200～300L/10a	4回	7, 14日 7, 13日	圃場A:2.4 圃場B:2.5
たまねぎ※ （鱗茎）	2	20%フロアブル	1500倍散布 200L/10a	4回	1, 7, 14日	圃場A:0.02(#)(4回、1日) 圃場B:<0.01(#)(4回、1日)
根深ねぎ （茎葉）	2	20%フロアブル	2000倍散布 180～300L/10a	4回	3, 7, 14日	圃場A:0.96 圃場B:0.20
葉ねぎ （茎葉）	2	20%フロアブル	2000倍散布 180～300L/10a	4回	3, 7, 14日	圃場A:1.42(4回、7日) 圃場B:1.20
にんにく （鱗茎）	2	20%フロアブル	2000倍散布 300, 150L/10a	3回	7, 14, 21日	圃場A:<0.01 圃場B:<0.01
にら （茎葉）	2	20%フロアブル	2000倍散布 150～200L/10a	2回	14日	圃場A:1.10 圃場B:2.42
アスパラガス※ （茎）	2	20%フロアブル	2000倍散布 250～300L/10a	4回	1, 3, 7日 1, 3, 6日	圃場A:0.83 圃場B:0.13
らっきょう （鱗茎）	2	20%フロアブル	2000倍散布 150L/10a	3回	3, 7, 14日	圃場A:0.02(3回、7日) 圃場B:0.02
にんじん※ （根部）	2	4.8%フロアブル	1000倍散布 200～400L/10a	2回	21, 28日	圃場A:0.02 圃場B:<0.01
パセリ （茎葉）	2	20%フロアブル	2000倍散布 250L/10a	1回	45, 60日	圃場A:0.05(1回、60日) 圃場B:0.33
みつば （茎葉）	2	20%フロアブル	2000倍散布 100L/10a	1回	14, 21日	圃場A:1.6 圃場B:1.7

農作物	試験圃場数	試験条件				最大残留量（ppm）
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
トマト※ （果実）	2	20%フロアブル	1500倍散布 300L/10a	4回	1,3,7日 1,3,8日	圃場A:0.40(#)(4回、1日) 圃場B:0.09(#)(4回、8日)
ピーマン （果実）	2	20%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	4回	1,3,7日	圃場A:1.18 圃場B:1.28
なす （果実）	2	20%フロアブル	2000倍散布 300L/10a	4回	1,3,7日	圃場A:0.26 圃場B:0.58
きゅうり※ （果実）	2	20%フロアブル	1000倍株元灌注 100mL/株 +1500倍散布 150～300L/10a	4回	1,3,7日	圃場A:0.20(#)(4回、1日) 圃場B:0.48(#)(4回、1日)
かぼちゃ （果実）	2	20%フロアブル	2000倍散布 293.3～300L/10a	4回	1,7,14日	圃場A:0.3 圃場B:0.3
すいか （果実）	2	20%フロアブル	2000倍散布 168～300L/10a	4回	1,3,7日	圃場A:0.01(4回、7日) 圃場B:<0.01
メロン （果実）	2	20%フロアブル	2000倍散布 300L/10a	4回	1,3,7日	圃場A:<0.01 圃場B:<0.01
オクラ （果実）	2	20%フロアブル	2000倍散布 180～250L/10a	2回	1,3,7日	圃場A:1.22 圃場B:1.06
さやえんどう （さや）	2	20%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	3回	1,3,7日	圃場A:0.28(3回、3日) 圃場B:1.30
みょうが （花穂）	2	20%フロアブル	2000倍散布 3000L/10a	4回	3,7,14日	圃場A:0.50(4回、3日)（#） 圃場B:0.34(4回、3日)（#）
りんご （果実）	2	10%フロアブル	1000倍散布 500L/10a	5回	42日	圃場A:0.98（#） 圃場B:0.14（#）
日本なし （果実）	2	10%フロアブル	1000倍散布 500L/10a	5回	14,28,42日	圃場A:0.60 圃場B:0.36
日本なし （果実）	2	10%フロアブル	1000倍散布 500L/10a	2回	1,3,7日	圃場A:0.68 圃場B:0.35
もも （果実）	2	10%フロアブル	1000倍散布 500L/10a	3回	1,3,7日	圃場A:<0.01 圃場B:0.01
もも （果皮）	2	10%フロアブル	1000倍散布 500L/10a	3回	1,3,7日	圃場A:2.57 圃場B:6.42(3回、3日)
ネクタリン※ （果実）	2	10%フロアブル	1000倍散布 400L/10a	3回	1,3,7日 1,3,7,14日	圃場A:0.5(3回、3日) 圃場B:1.4
すもも （果実）	2	10%フロアブル	1000倍散布 300～400L/10a	3回	1,3,7日	圃場A:0.12 圃場B:0.09
おうとう※ （果実）	2	10%フロアブル	1000倍散布 500L/10a	2回	1,3,7日	圃場A:1.30(3回、3日) 圃場B:0.47
いちご （果実）	1	20%フロアブル	1500～2000倍散布 300L/10a +1000倍土壌灌注 100mL/株	8回	1,3,7日	圃場A:1.20(#)(8回、1日)
いちご （果実）	1	20%フロアブル	1500～2000倍散布 300L/10a	8回	1,4,8日	圃場A:1.18(#)(8回、1日)
ぶどう※ （果実）	2	10%フロアブル	100倍休眠期散布 300～500L/10a+1000倍散布 500L/10a	4回	45,60,75日 45,59,75日	圃場A:4.22(#)(4回、45日) 圃場B:1.68(#)(4回、45日)
かき※ （果実）	2	10%フロアブル	1000倍散布 300,400L/10a	3回	7,14,21日	圃場A:0.05 圃場B:0.36

農作物	試験圃場数	試験条件				最大残留量（ppm）
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
パッションフルーツ（果実）	2	10%フロアブル	1000倍散布 300L/10a	3回	1,3,7日	圃場A:0.33 圃場B:0.30
いちじく（果実）	2	10%フロアブル	1000倍散布 230～300L/10a	3回	1,7,14日	圃場A:0.25 圃場B:0.57
茶※（荒茶）	4	20%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	3回	14,21日	圃場A:4.75 圃場B:2.62 圃場C:0.80 圃場D:3.46
茶（浸出液）	4	20%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	3回	14,21日	圃場A:2.50 圃場B:1.34 圃場C:0.42 圃場D:1.28
びわ※（果実）	2	10%フロアブル	1000倍散布 400L/10a	3回	7,14,21日	圃場A:0.017 圃場B:0.008
うめ（果実）	2	10%フロアブル	1500倍散布 250～300L/10a	3回	1,7,14日	圃場A:0.6(3回、7日) 圃場B:0.7
わけぎ※（茎葉）	2	20%フロアブル	2000倍散布 150～400L/10a	4回	7,14日	圃場A:0.1 圃場B:0.4
あさつき（茎葉）	2	20%フロアブル	2000倍散布 150～200L/10a	4回	3,7,14日	圃場A:1.5 圃場B:0.8
シソ（葉）	2	10%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	2回	1,3,7日	圃場A:0.10 圃場B:0.04
せり（茎葉）	2	20%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	4回	7,14,21日 7,12,20日	圃場A:0.7(4回、14日) 圃場B:0.8
マンゴー（果実）	2	10%フロアブル	100倍散布 200L/10a	1回	1,3,7日	圃場A:0.4 圃場B:0.5
クレソン（茎葉）	2	20%フロアブル	2000倍散布 150L/10a	3回	21日	圃場A:<0.20 圃場B:0.26
葉ごぼう（植物体全体）	2	20%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	1回	21,28日	圃場A:2.2 圃場B:1.6
ホトケノザ（茎葉）	1	20%フロアブル	2000倍散布 150L/10a	1回	30,45,60日	圃場A:0.86
ゴギョウ（茎葉）	1	20%フロアブル	2000倍散布 150L/10a	1回	30,45,60日	圃場A:0.36
みずな（茎葉）	2	20%フロアブル	2000倍散布 265～391L/10a	2回	21日	圃場A:0.4 圃場B:2.4
ズッキーニ（果実）	2	20%フロアブル	2000倍散布 250L/10a	4回	1,3,7日	圃場A:0.2 圃場B:0.2
グァバ※（果実）	2	10%フロアブル	1000倍散布 139L/10a	3回	14,21日 7,14,21日	圃場A:0.03(#)(3回、14日) 圃場B:0.08(#)(3回、7日)
ピタヤ※（果実）	2	10%フロアブル	100倍散布 188L/10a	3回	1,7,14日	圃場A:1.38(#)(3回、1日) 圃場B:0.26(#)(3回、1日)

（#）これらの作物残留試験は、申請の範囲内で試験が行われていない。
（※）印で示した作物については、申請の範囲内で最高の値を示した括弧内に示す条件において得られた値を採用し最大使用条件下の作物残留試験条件に、アンダーラインを付している。
なお、食品安全委員会農薬専門調査会の農薬評価書「アゾキシストロビン」に記載されている作物残留試験成績は、各試験条件における残留農薬の最高値及び各試験場、検査機関における最高値の平均値を示したものであり、上記の最大残留量の定義と異なっている。

（別紙１－２）

アゾキシストロビン海外作物残留試験一覧表

農作物	試験圃場	試験条件				最大残留量（ppm）
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
稲 （籾米）	7	80%顆粒水和剤	224g ai/ha　散布 +336g ai/ha 散布	2+1回	28日	圃場A:0.30 圃場B:2.7 圃場C:2.2 圃場D:0.41 圃場E:0.19 圃場F:0.27 圃場G:0.82
小麦 （穀粒）	5	フロアブル （250g ai/L）	250g ai/ha　散布	3回	40日 48日 48日 48日 39日	圃場A:0.01 圃場B:0.03 圃場C:0.02 圃場D:0.02 圃場E:0.03
大麦 （穀粒）	3	フロアブル （250g ai/L）	250g ai/ha　散布	3回	38日 53日 55日	圃場A:0.23 圃場B:0.14 圃場C:0.07
とうもろこし （穀粒）	6	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布	8回	7日	圃場A:<0.01 圃場B:<0.01 圃場C:<0.01 圃場D:0.02 圃場E:<0.01 圃場F:<0.01
大豆 （種子）	7	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布	6回	14日 15日 14日 16日 14日 14日 14日	圃場A:0.04 圃場B:0.12 圃場C:0.12 圃場D:0.07 圃場E:0.06 圃場F:0.06 圃場G:0.02
らっかせい （種子）	9	80%顆粒水和剤	448g ai/ha 散布	2回	14日 14日 14日 14日 14日 14日 20日 14日 14日	圃場A:<0.01 圃場B:0.01 圃場C:0.01 圃場D:0.12 圃場E:0.01 圃場F:<0.01 圃場G:<0.01 圃場H:0.06 圃場I:0.01
ばれいしょ （根茎）	4	フロアブル （250g ai/L）	1500g ai/ha 土壌混和	1回	108日 118日 95日 116日	圃場A:0.01 圃場B:0.01 圃場C:0.01 圃場D:0.01
ばれいしょ （根茎）	4	フロアブル （250g ai/L）	750g ai/ha 畝間散布	1回	108日 118日 95日 116日	圃場A:0.01 圃場B:0.02 圃場C:0.01 圃場D:0.03

農作物	試験圃場	試験条件				最大残留量（ppm）
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
ばれいしょ （根茎）	14	80%顆粒水和剤	370g ai/ha 散布	6回	14日	圃場A:0.01 圃場B:<0.01 圃場C:0.01 圃場D:<0.01 圃場E:<0.01 圃場F:0.02 圃場G:<0.01 圃場H:<0.01 圃場I:<0.01 圃場J:<0.01 圃場K:<0.01 圃場L:<0.01 圃場M:<0.01 圃場N:<0.01
てんさい （根茎）	9	80%顆粒水和剤	370g ai/ha 散布	6回	0日	圃場A:0.03 圃場B:0.05 圃場C:0.18 圃場D:0.08 圃場E:0.04 圃場F:0.10 圃場G:0.11 圃場H:0.08 圃場I:0.05
ラディッシュ （根茎）	5	80%顆粒水和剤	370g ai/ha 散布	6回	0日	圃場A:0.41 圃場B:0.26 圃場C:0.14 圃場D:0.39 圃場E:0.11
ラディッシュ （葉）	5	80%顆粒水和剤	370g ai/ha 散布	6回	0日	圃場A:23.6 圃場B:31.4 圃場C:12.8 圃場D:9.9 圃場E:14.3
クレソン （茎葉）	5	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布	3回 6回	7日	圃場A:0.117 圃場B:0.475 圃場C:0.511 圃場D:<0.0676 圃場E:1.32
キャベツ （葉） ※外葉あり	4	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布	6回	0日	圃場A:1.76 圃場B:0.90 圃場C:0.321 圃場D:1.99
キャベツ （葉）	4	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布	6回	0日	圃場A:0.176 圃場B:0.101 圃場C:0.0251 圃場D:0.174
芽キャベツ （茎葉）	3	フロアブル （250g ai/L）	250g ai/ha 散布	2回	14,21日	圃場A:0.02 圃場B:0.04 圃場C:0.05

農作物	試験圃場	試験条件				最大残留量（ppm）
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
ケール （茎葉）	3	フロアブル （250g ai/L）	250g ai/ha 散布	2回	14,21日 13,21日	圃場A:0.08 圃場B:0.32 圃場C:0.31（2回、21日）
マスタード （葉）	9	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布 135-280g ai/ha 散布	6回	0,6日 0日 0日 0,7日 0日 0,7日 0,6日 0日 0日	圃場A:4.81 圃場B:14.7 圃場C:4.36 圃場D:5.60（6回、7日） 圃場E:12.2 圃場F:10.7（6回、7日） 圃場G:21.0 圃場H:7.52 圃場I:7.19
ブロッコリー （花穂）	4	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布	6回	0,3,7日 0日 0,4,6日 0日	圃場A:0.804（6回、7日） 圃場B:1.29 圃場C:2.13 圃場D:0.187
カリフラワー （花穂）	4	フロアブル （250g ai/L）	250g ai/ha 散布	2回	14,21日	圃場A:0.02 圃場B:0.06 圃場C:0.17 圃場D:0.15
アーティチョーク （葉）	3	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布	6回	0日	圃場A:1.6 圃場B:1.7 圃場C:2.3
レタス （葉）	8	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布	6回	0日	圃場A:2.49 圃場B:3.37 圃場C:3.43 圃場D:3.77 圃場E:2.47 圃場F:4.70 圃場G:3.39 圃場H:2.11
リーフレタス （葉）	8	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布	6回	0日	圃場A:6.1 圃場B:3.5 圃場C:4.4 圃場D:10.0 圃場E:8.2 圃場F:4.9 圃場G:13.5 圃場H:2.7
たまねぎ （鱗茎）	8	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布	6回	0日	圃場A:0.55 圃場B:0.20 圃場C:0.45 圃場D:0.30 圃場E:<0.01 圃場F:0.14 圃場G:0.28 圃場H:0.07
ねぎ （茎葉）	2	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布	6回	0日	圃場A:5.5 圃場B:1.4

農作物	試験圃場	試験条件				最大残留量（ppm）
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
ねぎ （茎葉）	4	80%顆粒水和剤	113g ai/ac 散布	6回	0日	圃場A:1.2 圃場B:1.4 圃場C:2.3 圃場D:0.58
ねぎ （茎葉）	4	22.8%フロアブル	113g ai/ac 散布	6回	0日	圃場A:1.0 圃場B:1.9 圃場C:2.0 圃場D:0.19
にんじん （根茎）	6	80%顆粒水和剤	370g ai/ha 散布	6回	0日	圃場A:0.17 圃場B:0.11 圃場C:0.23 圃場D:0.02 圃場E:0.29 圃場F:0.13
パセリ （茎葉）	2	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布	6回	0日	圃場A:19.7 圃場B:14.2
セルリー （根茎）	8	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布	6回	0日	圃場A:2.1 圃場B:3.8 圃場C:9.1 圃場D:3.2 圃場E:2.3 圃場F:4.6 圃場G:5.6 圃場H:2.2
きゅうり （果実）	7	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布	6回	1日	圃場A:0.08 圃場B:0.06 圃場C:0.05 圃場D:0.04 圃場E:0.09 圃場F:0.07 圃場G:0.05
サマースカッシュ （果実）	5	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布	6回	1日	圃場A:0.08 圃場B:0.10 圃場C:0.05 圃場D:0.05 圃場E:0.11
カンタロープ （果実）	6	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布	6回	1日	圃場A:0.17 圃場B:0.14 圃場C:0.10 圃場D:0.19 圃場E:0.25 圃場F:0.1
ほうれんそう （茎葉）	7	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布	6回	6日 0日 0日 6日 0日 0,7日 0日	圃場A:2.28(6回、6日) 圃場B:18.5 圃場C:8.25 圃場D:2.81(6回、6日) 圃場E:23.0 圃場F:13.6 圃場G:12.5

農作物	試験圃場	試験条件				最大残留量（ppm）
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
ほうれんそう（茎葉）	4	80%顆粒水和剤	113g ai/ac 散布	6回	0日	圃場A:16 圃場B:6.2 圃場C:10.1 圃場D:9.6
ほうれんそう（茎葉）	4	22.8%フロアブル	113g ai/ac 散布	6回	0日	圃場A:14 圃場B:5.0 圃場C:7.7 圃場D:12.0
未成熟豆類※（莢付豆）	3	80%顆粒水和剤	13.9g ai/km 畝間 +280g ai/ha 散布	1+6回	0日	圃場A:0.38(1+6回、0日) （#） 圃場B:0.10(1+6回、0日) （#） 圃場C:1.0(1+6回、0日) （#）
多肉未成熟豆類※（豆）	1	80%顆粒水和剤	13.9g ai/km 畝間 +280g ai/ha 散布	1+6回	0日	圃場A:0.02(1+6回、0日) （#）
レモン（果実）	3	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布 （水量60-68gallon/acre）	6回	0日	圃場A:0.69 圃場B:0.63 圃場C:0.58
レモン（果実）	3	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布 （水量221-235 gallon/acre）	6回	0日	圃場A:0.42 圃場B:0.47 圃場C:0.27
オレンジ（果実）	4	80%顆粒水和剤	113g ai/ac 散布	6回	0日	圃場A:0.44 圃場B:0.28 圃場C:0.83 圃場D:0.56
オレンジ（果実）	4	フロアブル (208lb/gallon)	113g ai/ac 散布	6回	0日	圃場A:0.23 圃場B:0.35 圃場C:1.05 圃場D:0.72
グレープフルーツ（果実）	4	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布 （水量53-67gallon/acre）	6回	0日	圃場A:0.18 圃場B:0.20 圃場C:0.18 圃場D:0.18
グレープフルーツ（果実）	3	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布 （水量217-242 gallon/acre）	6回	0日	圃場A:0.24 圃場B:0.24 圃場C:0.37
ラズベリー※（果実）	2	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布	7回 6回	0日 0日	圃場A:0.69（7回、0日） （#） 圃場B:2.33
ブラックベリー※（果実）	1	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布	7回	0日	圃場A:2.87（7回、0日） （#）
ブルーベリー※（果実）	7	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布	0日 0,7日	6回	圃場A:1.33（6回、0日） （#） 圃場B:0.493（6回、0日） （#） 圃場C:0.918（6回、0日） （#） 圃場D:0.677（6回、0日） （#） 圃場E:0.869（6回、0日） （#） 圃場F:0.857（6回、0日） （#） 圃場G:1.06（6回、0日） （#）
クランベリー（果実）	4	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布	6回	3,14日 3,13日 3,15日 3,14日	圃場A:0.151（6回、14日） 圃場B:0.257 圃場C:0.282 圃場D:0.181
バナナ（果実）（無袋）	6	80%顆粒水和剤	151g ai/ha 散布	8回	0日	圃場A:0.10 圃場B:0.18 圃場C:0.10 圃場D:0.21 圃場E:0.25 圃場F:0.15

農作物	試験圃場	試験条件				最大残留量（ppm）
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
バナナ (果実) (袋詰)	6	80%顆粒水和剤	151g ai/ha 散布	8回	0日	圃場A:0.04 圃場B:0.01 圃場C:0.02 圃場D:0.05 圃場E:0.02 圃場F:0.13
マンゴー (果実)	3	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布	6回	0日	圃場A:0.243 圃場B:0.0686 圃場C:0.444
ライチ (果実)	2	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布	5回	0日	圃場A:1.66 圃場B:0.231
パパイヤ (果実)	2	500g ai/kg	80g ai/ha 散布 160 g ai/ha 散布	6回	0,3,7, 10,14日	圃場A:0.16（6回、0日） 圃場B:0.49（6回、0日）
綿実 (種子)	12	80%顆粒水和剤	18.6g ai/km 畝間散布	1回	202日 180日 182,217日 184,237日 166日 163,218日 161,205日 182日 190日 207日 148,198日 161,215日	圃場A:<0.01 圃場B:<0.01 圃場C:<0.01 圃場D:<0.01 圃場E:<0.01 圃場F:<0.01 圃場G:<0.01 圃場H:<0.01 圃場I:<0.01 圃場J:<0.01 圃場K:<0.01 圃場L:<0.01
なたね (種子)	1	水和剤 (250g ai/L)	250g ai/L 散布	2回	21,23日	圃場A:0.05
なたね (種子)	1	フルトリアフォル 水和剤	200g ai/L 散布	2回	21,23日	圃場A:0.03
キャノーラ (種子)	2	80%顆粒水和剤	448g ai/ha 散布	1回	71日 65日	圃場A:<0.01 圃場B:0.01
アーモンド (種子)	5	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布	6回	29日 29日 29日 29日 28日	圃場A:<0.01 圃場B:<0.01 圃場C:<0.01 圃場D:<0.01 圃場E:<0.01
ピスタチオ (種子)	3	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布	6回	7日	圃場A:0.406 圃場B:0.354 圃場C:0.244
ホップ (新鮮穂軸)	2	フロアブル (250 g ai/L)	250g ai/ha 散布	6回	28日 26日	圃場A:3.2（6回、28日）（#） 圃場B:3.4（6回、26日）（#）
ホップ※ (乾燥穂軸)	4	フロアブル (250 g ai/L)	250g ai/ha 散布	6回	28日 26日	圃場A:12（6回、28日）（#） 圃場B:10（6回、28日）（#） 圃場C:15（6回、26日）（#） 圃場D:9.3（6回、26日）（#）

農作物	試験圃場	試験条件				最大残留量（ppm）
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
ディル （種子）	3	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布	6回	0日	圃場A:6.20 圃場B:17.4 圃場C:23.3
バジル （葉）	3	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布	6回 5回 6回	0日	圃場A:46.3 圃場B:23.3 圃場C:19.3
ピーマン※ （果実）	5	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布	6回 6回 6回 6回 7回	0,8日 0,6日 0日 0,7日 0日	圃場A:0.107（6回、8日）（#） 圃場B:0.369（6回、0日）（#） 圃場C:0.314（6回、0日）（#） 圃場D:0.242（6回、7日）（#） 圃場E:0.136（7回、0日）（#）
とうがらし※ （果実）	4	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布	6回 6回 6回 8回	0,8日 0日 0日 0日	圃場A:0.834（6回、0日）（#） 圃場B:0.499（6回、0日）（#） 圃場C:0.059（6回、0日）（#） 圃場D:0.915（8回、0日）（#）
コーヒー豆※ （種子）	1	80%顆粒水和剤	50g ai/ha 散布	5回	21,28, 35,42日	圃場A:<0.01（5回、21日）（#）

海外で実施された作物残留試験のうち、作物残留試験が実施された国の使用方法の範囲内で試験が行われていない試験成績等については記載していない。
ただし、作物名に「※」が記されている未成熟豆類、多肉未成熟豆類、ラズベリー、ブラックベリー、ブルーベリー、ホップ、ピーマン、とうがらし及びコーヒー豆の試験については作物残留試験が実施された国における使用方法の範囲外で実施されているものの、作物残留試験条件等を考慮し、基準値設定の際の参考とすることとした。
一部の作物残留試験については、各国政府の要請により記載していない。
最大使用条件下の作物残留試験条件に、アンダーラインを付している。
なお、食品安全委員会農薬専門調査会の農薬評価書「アゾキシストロビン」に記載されている作物残留試験成績は、各試験条件における残留農薬の最高値及び各試験場、検査機関における最高値の平均値を示したものであり、上記の最大残留量の定義と異なっている。

農薬名　アゾキシストロビン　（別紙2）

農産物名	基準値案 ppm	基準値現行 ppm	登録有無	参考基準値 国際基準 ppm	参考基準値 外国基準値 ppm		作物残留試験成績 ppm
米（玄米をいう）	0.2	5	○		5.0	アメリカ	<0.01(#), <0.01(#), 0.01(#), 0.02(#), 0.04(#$), 0.02(#), 0.03(#), 0.04(#), <0.01(#), 0.02(#), 0.02(#), 0.02(#)【0.30, 2.7, 2.2, 0.41, 0.19, 0.27, 0.82】
小麦	0.5	0.5	○		0.3	EU	0.02(#), 0.10(#$)【0.01, 0.03, 0.02, 0.02, 0.03】
大麦	0.3	0.3			0.3	EU	
ライ麦	0.3	0.3			0.3	EU	
とうもろこし	0.05	0.1			0.05	アメリカ	【<0.01, <0.01, 0.02, <0.01, <0.01, <0.01】
そば		0.1			0.2	NZ	
その他の穀類	0.3	0.3			0.3	EU	
大豆	0.5	0.5	○		0.5	アメリカ	0.02, 0.01,<0.01(#), <0.01(#)【0.04, 0.12, 0.02, 0.07, 0.06, 0.06, 0.02（大豆）<0.01, <0.01, <0.01, <0.01, <0.01, <0.01, <0.01, <0.01, <0.01, 0.01（乾燥豆）】
小豆類（いんげん、ささげを含む※）	0.5	0.3	○		0.50	アメリカ	0.01, 0.01, <0.01(#), <0.01(#)【米国の大豆及び乾燥豆のデータを参照】
えんどう	0.5	0.3			0.50	アメリカ	【米国の大豆及び乾燥豆のデータを参照】
そらまめ	0.5	0.3			0.50	アメリカ	【米国の大豆及び乾燥豆のデータを参照】
らっかせい	0.2	0.01			0.2	アメリカ	【<0.01, <0.01, 0.01, 0.01, 0.12, <0.01, <0.01, 0.06, 0.01】
その他の豆類	0.5	0.3			0.50	アメリカ	【米国の大豆及び乾燥豆のデータを参照】
ばれいしょ	0.05	0.03			0.05	EU	【0.01, 0.01, 0.01, 0.01/0.01, 0.02, 0.01, 0.03/0.01, <0.01, 0.01, <0.01, <0.01, 0.02, <0.01, <0.01, <0.01, <0.01, <0.01, <0.01, <0.01, <0.01, <0.01】
さといも類（やつがしらを含む）	0.03	0.04			0.03	アメリカ	【米国のじゃがいものデータを参照】
かんしょ	0.03	0.04			0.03	アメリカ	【米国のじゃがいものデータを参照】
やまいも（長いもをいう）	0.03	0.04			0.03	アメリカ	【米国のじゃがいものデータを参照】
こんにゃくいも		0.05			0.05	EU	
その他のいも類	0.03	0.04			0.03	アメリカ	【米国のじゃがいものデータを参照】
てんさい	0.5	0.1	○		0.5	アメリカ	<0.01, <0.01, <0.01(#), <0.01(#)【0.03, 0.05, 0.17, 0.08, 0.04, 0.10, 0.09, 0.08, 0.05】
さとうきび		0.02					
だいこん類（ラディッシュを含む）の根	0.5	0.3	○		0.5	アメリカ	<0.01, <0.01【0.41, 0.26, 0.14, 0.37, 0.11】
だいこん類（ラディッシュを含む）の葉	50	5	○		50.0	アメリカ	0.44, 0.14【23.6, 32.4, 12.8, 9.9, 14.3】
かぶ類の根	0.5	0.3	申		0.5	アメリカ	0.02, 0.04
かぶ類の葉	15	5	申		25	アメリカ	2.36, 8.64($)
西洋わさび	0.5	0.4			0.5	アメリカ	【米国のだいこん類の根及びテンサイのデータを参照】
クレソン	3.0	5	○		3.0	アメリカ	<0.20, 0.26【0.117, 0.475, 0.511($), <0.0676, 1.32】
はくさい	3.0	0.5	○		3.0	アメリカ	0.10(#), 0.06【米国のキャベツとブロッコリーのデータを参照】
キャベツ	3.0	0.5	○		3.0	アメリカ	0.08, <0.01【0.176, 0.101, 0.0251, 0.174（外葉なし）1. 76, 0. 90, 0. 321, 1. 99（外葉あり）】
芽キャベツ	3.0	5			3.0	アメリカ	【0.02, 0.04, 0.05／【米国のキャベツとブロッコリーのデータを参照】
ケール	5	5			25	アメリカ	【0.08, 0.32, 0.31】
こまつな	5	5	○		25	アメリカ	<0.1, 2.5($)
きょうな	5	5			25	アメリカ	0.4, 2.4($)
チンゲンサイ	5	5			25	アメリカ	

農産物名	基準値 案 ppm	基準値 現行 ppm	登録 有無	参考基準値 国際 基準 ppm	参考基準値 外国 基準値 ppm		作物残留試験成績 ppm
カリフラワー	3.0	5			3.0	アメリカ	【0.02, 0.06, 0.17, 0.15／米国のキャベツとブロッコリーのデータを参照】
ブロッコリー	3.0	5			3.0	アメリカ	【0.804, 1.29, 2.13, 0.187】
その他のあぶらな科野菜	30	5	申・○		30.0	アメリカ	0.12, 2.34(しろな) 0.76, 2.19(大山そだち) 0.86, 0.92(サガミグリーン) 0.82, 0.73(畑わさび) 【米国のレタス、リーフレタス、セロリ及びほうれんそうのデータを参照】
ごぼう	0.5	0.3			0.5	アメリカ	【米国のだいこん類の根、テンサイ及びにんじんのデータを参照】
サルシフィー	0.5	0.4			0.5	アメリカ	【米国のだいこん類の根、テンサイ及びにんじんのデータを参照】
アーティチョーク	4.0	5			4.0	アメリカ	【1.6, 1.7, 2.3】
チコリ	30	5			30.0	アメリカ	【米国のレタス、リーフレタス、セロリ及びほうれんそうのデータを参照】
エンダイブ	30	5	○		30.0	アメリカ	<0.05, 1.18 【米国のレタス、リーフレタス、セロリ及びほうれんそうのデータを参照】
しゅんぎく	30	5			30.0	アメリカ	【米国のレタス、リーフレタス、セロリ及びほうれんそうのデータを参照】
レタス(サラダ菜及びちしゃを含む)	30	5	○		30.0	アメリカ	1.52, 2.94, 2.4, 2.5 【2.49, 3.30, 3.43, 3.77, 2.43, 4.70, 3.39, 2.12(レタス) 6.1, 3.4, 4.4, 10.0, 8.2, 4.9, 13.5, 2.7(非結球レタス)】
その他のきく科野菜	50	5			50	アメリカ	2.2, 1.6(葉ごぼう) 0.86(ホトケノザ) 0.36(ゴギョウ) 【米国のバジルのデータを参照】
たまねぎ	0.1	0.1	○		0.05	EU	0.02(#$), <0.01(#) 【0.55, 0.20, 0.45, 0.30, <0.01, 0.14, 0.28, 0.06】
ねぎ(リーキを含む)	7.5	5	○		7.5	アメリカ	0.96, 0.20(根深ねぎ) 1.42, 1.20(葉ねぎ) 【5.5, 1.4/1.2, 1.4, 2.3, 0.58/0.96, 1.9, 2.0, 0.19】
にんにく	0.1	0.1	○		0.05	EU	<0.01, <0.01
にら	5	5	○		3	EU	1.10, 2.42
アスパラガス	2	5	○		0.05	EU	0.83($), 0.13
わけぎ	1	5	○		0.05	EU	0.1, 0.4($)
その他のゆり科野菜	50	5	○		50	アメリカ	0.02, 0.02(らっきょう) 【米国のバジルのデータを参照】
にんじん	0.5	0.1	○		0.5	アメリカ	0.02($), <0.01 【0.17, 0.11, 0.23, 0.02, 0.29, 0.12】
パースニップ	0.5	0.4			0.5	アメリカ	【米国のだいこん類の根、テンサイ及びにんじんのデータを参照】
パセリ	30	5	○		30.0	アメリカ	0.05, 0.33 【19.7, 14.2／米国のレタス、リーフレタス、セロリ及びほうれんそうのデータを参照】
セロリ	30	5			30.0	アメリカ	2.2】
みつば	5	5	○		3	EU	1.6, 1.7
その他のせり科野菜	50	5	○		50	アメリカ	0.7, 0.8(せり) 【米国のバジルのデータを参照】
トマト	1	1	○		2.0	EU	0.40(#$), 0.09(#)
ピーマン	3	2	申		2.0	アメリカ	1.18, 1.28
なす	2	2	○		2.0	アメリカ	0.26, 0.58($)
その他のなす科野菜	2.0	2			2.0	アメリカ	
きゅうり(ガーキンを含む)	1	1	○		1	オーストラリア	0.20(#), 0.48(#$) 【0.08, 0.06, 0.05, 0.04, 0.09, 0.07, 0.04】
かぼちゃ(スカッシュを含む)	1	1	○		1	オーストラリア	0.3(#), 0.3(#)(かぼちゃ) 0.2, 0.2(ズッキーニ) 【0.08, 0.10, 0.05, 0.05, 0.11】
しろうり	1	1	○		1	オーストラリア	
すいか	1	1	○		1	オーストラリア	0.01, <0.01
メロン類果実	1	1	○		1	オーストラリア	<0.01, <0.01 【0.17, 0.14, 0.10, 0.19, 0.25, 0.1(カンタロープ)】
まくわうり	1	1			1	オーストラリア	
その他のうり科野菜	1	1	○		1	オーストラリア	

農産物名	基準値 案 ppm	基準値 現行 ppm	登録 有無	参考基準値 国際 基準 ppm	参考基準値 外国 基準値 ppm		作物残留試験成績 ppm
ほうれん草	30	5			30.0	ｱﾒﾘｶ	【2.28, 18.5, 8.25, 2.81, 23.0, 13.6, 13.6, 12.5/16, 6.2, 10.1, 9.6/14, 5.0, 7.7, 12.0】
たけのこ		0.05			0.05	EU	
オクラ	3	1	申		2.0	ｱﾒﾘｶ	1.22, 1.06
しょうが	0.03	0.04			0.03	ｱﾒﾘｶ	【米国のじゃがいものデータを参照】
未成熟えんどう	3.0	2	申		3.0	ｱﾒﾘｶ	【米国の未成熟豆類のデータを参照】
未成熟いんげん	3.0	2			3.0	ｱﾒﾘｶ	【米国の未成熟豆類のデータを参照】
えだまめ	3.0	2			3.0	ｱﾒﾘｶ	【米国の未成熟豆類のデータを参照】
マッシュルーム		0.05			0.05	EU	
しいたけ		0.05			0.05	EU	
その他のきのこ類		0.05			0.05	EU	
その他の野菜	50	5			50	ｱﾒﾘｶ	【米国のバジルのデータを参照】
みかん	1.0	1			1.0	ｱﾒﾘｶ	【米国のレモンとグレープフルーツのデータを参照】
なつみかん							
なつみかんの外果皮							
なつみかんの果実全体	1.0	1			1.0	ｱﾒﾘｶ	【米国のレモンとグレープフルーツのデータを参照】
レモン	1.0	1			1.0	ｱﾒﾘｶ	【0.69, 0.61, 0.58/0.42, 0.47, 0.28】
オレンジ(ネーブルオレンジを含む)	1.0	1			1.0	ｱﾒﾘｶ	【0.44, 0.28, 0.83, 0.56/0.23, 0.35, 1.05, 0.72 ／米国のレモンとグレープフルーツのデータを参照】
グレープフルーツ	1.0	1			1.0	ｱﾒﾘｶ	【0.18, 0.29, 0.18, 0.18/0.24, 0.24, 0.37】
ライム	1.0	1			1.0	ｱﾒﾘｶ	【米国のレモンとグレープフルーツのデータを参照】
その他のかんきつ類果実	1.0	10			1.0	ｱﾒﾘｶ	【米国のレモンとグレープフルーツのデータを参照】
りんご	2	2	○		0.05	EU	0.98(#), 0.14(#)
日本なし	2	2	○		0.05	EU	0.60, 0.36, 0.68, 0.35
西洋なし	2	2	○		0.05	EU	
マルメロ		2			0.05	EU	
びわ	0.1	0.1	○		2	ｱﾒﾘｶ	0.017($), 0.008
もも	1.5	1.5	○		1.5	ｱﾒﾘｶ	<0.01, 0.01
ネクタリン	3	1.5	申		1.5	ｱﾒﾘｶ	0.5, 1.4($)
あんず(アプリコットを含む)	1.5	1.5			1.5	ｱﾒﾘｶ	
すもも(プルーンを含む)	1.5	1.5	○		1.5	ｱﾒﾘｶ	
うめ	1.5	1.5	○		0.05	EU	0.6, 0.7
おうとう(チェリーを含む)	3	5	○		1.5	ｱﾒﾘｶ	1.30($), 0.47
いちご	3	5	○		10	ｱﾒﾘｶ	1.20(#), 1.18(#)
ラズベリー	5.0	10			5.0	ｱﾒﾘｶ	【2.33, 0.69(#)】
ブラックベリー	5.0	10			5.0	ｱﾒﾘｶ	【米国のラズベリーのデータを参照】
ブルーベリー	3.0	10			3.0	ｱﾒﾘｶ	0.918((#), 1.06(#), 0.677(#), 0.869(#)
クランベリー	0.5	10			0.50	ｱﾒﾘｶ	【0.151, 0.257, 0.282, 0.181】
ハックルベリー	3.0	10			3.0	ｱﾒﾘｶ	【米国のブルーベリーのデータを参照】
その他のベリー類果実	5.0	10			5.0	ｱﾒﾘｶ	【米国のラズベリーのデータを参照】
ぶどう	10	10	○		3	ｶﾅﾀﾞ	4.22(#$), 1.68(#)
かき	1	1	○		2	ｱﾒﾘｶ	0.05, 0.36($)
バナナ	2.0	2			2.0	ｱﾒﾘｶ	【0.10, 0.18, 0.10, 0.21, 0.25, 0.15(無袋)/0.04, 0.01, 0.02, 0.05, 0.02, 0.13(袋詰)】
キウィー		0.1			0.05	EU	
パパイヤ	2.0	2			2.0	ｱﾒﾘｶ	【0.16、0.49】
アボカド	1	2			1	ｵｰｽﾄﾗﾘｱ	【オーストラリアのアボカドのデータを参照】
パイナップル		2			0.05	EU	
グアバ	0.3	2			2.0	ｱﾒﾘｶ	0.03(#), 0.08(#$)
マンゴー	1	2	○		0.5	ｵｰｽﾄﾗﾘｱ	0.4, 0.5 【0.243, 0.0686, 0.444】
パッションフルーツ	1	2	○		2.0	ｱﾒﾘｶ	0.33, 0.30
なつめやし		10			0.05	EU	

農産物名	基準値案 ppm	基準値現行 ppm	登録有無	参考基準値 国際基準 ppm	参考基準値 外国基準値 ppm		作物残留試験成績 ppm
その他の果実	3	10	○		2.0	アメリカ	0.25, 0.57(いちじく) 1.38($), 0.26(ピタヤ) 【1.66, 0.231(ライチ)】
ひまわりの種子		0.05			0.05	EU	
ごまの種子		0.05			0.05	EU	
べにばなの種子	1.0	0.5			1.0	アメリカ	【米国のキャノーラのデータを参照】
綿実	0.02	0.03			0.02	アメリカ	【<0.01, <0.01, <0.01, <0.01, <0.01, <0.01, <0.01, <0.01, <0.01, <0.01, <0.01, <0.01】
なたね	1	1			0.5	EU	【0.05/0.03/<0.01, 0.01】
その他のオイルシード		0.04					
ぎんなん	0.02	0.02			0.1	EU	
くり	0.02	0.02			0.10	EU	
ペカン	0.02	0.02			0.10	EU	
アーモンド	0.02	0.02			4.0	アメリカ	【<0.01, <0.01, <0.01, <0.01, <0.01】
くるみ	0.02	0.02			0.10	EU	
その他のナッツ類	0.5	0.02			0.50	アメリカ	【0.406, 0.354, 0.244(ピスタチオ)】
茶	10	10	○		0.1	EU	4.75($), 2.62, 0.80, 3.46(茶)
コーヒー豆	0.05	0.02			0.05	ブラジル	【<0.01, <0.01, 0.16】
カカオ豆		0.02					
ホップ	20	20			20.0	アメリカ	【12(#), 10(#),15(#), 9.3(#)】
その他のスパイス	30	10					【6.20, 17.4, 23.3($)(ディル)】 5.86, 11.8(畑わさび) 0.50(#), 0.34(#)(みょうが) 1.5, 0.8(あさつき) 0.11, 0.04(シソ) 【4.81, 14.7, 4.36, 5.60, 12.2, 10.7, 21.0, 7.52, 7.19(マスタード) 46.3, 23.3, 19.3(バジル)】
その他のハーブ	50	5	申・○		50	アメリカ	
牛の筋肉	0.01	0.02			0.01	カナダ	
豚の筋肉	0.01	0.02			0.01	カナダ	
その他の陸棲哺乳類に属する動物の筋肉	0.01	0.02			0.01	カナダ	
牛の脂肪	0.03	0.03			0.03	アメリカ	
豚の脂肪	0.01	0.04			0.010	アメリカ	
その他の陸棲哺乳類に属する動物の脂肪	0.03	0.03			0.03	アメリカ	
牛の肝臓	0.3	0.01			0.3	カナダ	
豚の肝臓	0.3	0.09			0.3	カナダ	
その他の陸棲哺乳類に属する動物の肝臓	0.3	0.1			0.3	カナダ	
牛の腎臓	0.07	0.05			0.07	アメリカ	
豚の腎臓	0.06	0.03			0.06	カナダ	
その他の陸棲哺乳類に属する動物の腎臓	0.07	0.05			0.07	アメリカ	
牛の食用部位	0.07	0.04			0.07	アメリカ	
豚の食用部位	0.01	0.02			0.010	アメリカ	
その他の陸棲哺乳類に属する動物の食用部位	0.07	0.04			0.07	アメリカ	
乳	0.01	0.008			0.006	アメリカ	
鶏の筋肉	0.01	0.05			0.01	オーストラリア	
その他の家きんの筋肉	0.01	0.05			0.01	オーストラリア	
鶏の脂肪	0.01	0.05			0.01	オーストラリア	
その他の家きんの脂肪	0.01	0.05			0.01	オーストラリア	
鶏の肝臓	0.01	0.05			0.01	オーストラリア	
その他の家きんの肝臓	0.01	0.05			0.01	オーストラリア	
鶏の腎臓	0.01	0.05			0.01	オーストラリア	
その他の家きんの腎臓	0.01	0.05			0.01	オーストラリア	
鶏の食用部位	0.01	0.05			0.01	オーストラリア	
その他の家きんの食用部位	0.01	0.05			0.01	オーストラリア	
鶏の卵	0.01	0.05			0.01	オーストラリア	
その他の家きんの卵	0.01	0.05			0.01	オーストラリア	
魚介類(さけ目魚類に限る。)		0.008					
魚介類(うなぎ目魚類に限る。)		0.008					
魚介類(すずき目魚類に限る。)		0.008					
魚介類(その他の魚類に限る。)		0.008					
魚介類(貝類に限る。)		0.008					
魚介類(甲殻類に限る。)		0.008					
その他の魚介類		0.008					
はちみつ		0.008					

平成17年11月29日厚生労働省告示第499号において新しく設定した基準値については、網をつけて示した。
【 】で示した結果等については、海外で実施された作物残留試験成績を示した。

（別紙３）

アゾキシストロビン推定摂取量　（単位：μg／人／day）

食品群	基準値案 (ppm)	国民平均 TMDI	高齢者 (65歳以上) TMDI	妊婦 TMDI	幼小児 (1～6歳) TMDI
米（玄米）	0.2	37.0	37.8	27.9	19.5
小麦	0.5	58.4	41.7	61.7	41.2
大麦	0.3	1.8	1.1	0.1	0.0
ライ麦	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0
とうもろこし	0.05	0.1	0.0	0.1	0.2
その他の穀類	0.3	0.1	0.1	0.2	0.1
大豆	0.5	28.1	29.4	22.8	16.9
小豆類	0.5	0.7	1.4	0.1	0.3
えんどう	0.5	0.2	0.2	0.2	0.1
そら豆	0.5	0.1	0.2	0.1	0.1
らっかせい	0.2	0.1	0.1	0.0	0.1
その他の豆類	0.5	0.1	0.1	0.1	0.1
ばれいしょ	0.05	1.8	1.4	2.0	1.1
さといも類（やつがしらを含む）	0.03	0.3	0.5	0.2	0.2
かんしょ	0.03	0.5	0.5	0.4	0.5
やまいも（長いも）	0.03	0.1	0.1	0.0	0.0
その他のいも類	0.03	0.0	0.0	0.0	0.0
てんさい	0.5	2.3	2.0	1.7	1.9
だいこん類（ラディッシュを含む）の根	0.5	22.5	29.3	14.4	9.4
だいこん類（ラディッシュを含む）の葉	50	110.0	170.0	45.0	25.0
かぶ類の根	0.5	1.3	2.1	0.4	0.4
かぶ類の葉	15	7.5	16.5	4.5	1.5
西洋わさび	0.5	0.1	0.1	0.1	0.1
クレソン	3.0	0.3	0.3	0.3	0.3
はくさい	3.0	88.2	95.1	65.7	30.9
キャベツ	3.0	68.4	59.7	68.7	29.4
芽キャベツ	3.0	0.3	0.3	0.3	0.3
ケール	5	0.5	0.5	0.5	0.5
こまつな	5	21.5	29.5	8.0	10.0
きような	5	1.5	1.5	0.5	0.5
チンゲンサイ	5	7.0	9.5	5.0	1.5
カリフラワー	3.0	1.2	1.2	0.3	0.3
ブロッコリー	3.0	13.5	12.3	14.1	8.4
その他のあぶらな科野菜	30	63.0	93.0	6.0	9.0
ごぼう	0.5	2.3	2.6	1.2	0.8
サルシフィー	0.5	0.1	0.1	0.1	0.1
アーティチョーク	4.0	0.4	0.4	0.4	0.4
チコリ	30	3.0	3.0	3.0	3.0
エンダイブ	30	3.0	3.0	3.0	3.0
しゆんぎく	30	75.0	111.0	57.0	18.0
レタス（サラダ菜及びちしゃを含む）	30	183.0	126.0	192.0	75.0
その他のきく科野菜	50	20.0	35.0	25.0	5.0
たまねぎ	0.1	3.0	2.3	3.3	1.9
ねぎ（リーキを含む）	7.5	84.8	101.3	61.5	33.8
にんにく	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0
にら	5	8.0	8.0	3.5	3.5
アスパラガス	2	1.8	1.4	0.8	0.6
わけぎ	1	0.2	0.3	0.1	0.1
その他のゆり科野菜	50	45.0	90.0	5.0	5.0
にんじん	0.5	12.3	11.2	12.6	8.2
パースニップ	0.5	0.1	0.1	0.1	0.1
パセリ	30	3.0	3.0	3.0	3.0
セロリ	30	12.0	12.0	9.0	3.0
みつば	5	1.0	1.0	0.5	0.5
その他のせり科野菜	50	5.0	15.0	5.0	5.0
トマト	1	24.3	18.9	24.5	16.9
ピーマン	3	13.2	11.1	5.7	6.0
なす	2	8.0	11.4	6.6	1.8
その他のなす科野菜	2.0	0.4	0.6	0.2	0.2

食品群	基準値案 (ppm)	国民平均 TMDI	高齢者 (65歳以上) TMDI	妊婦 TMDI	幼小児 (1～6歳) TMDI
きゆうり（ガーキンを含む）	1	16.3	16.6	10.1	8.2
かぼちや（スカッシュを含む）	1	9.4	11.5	6.9	5.8
しろうり	1	0.3	0.8	0.1	0.1
すいか	1	0.1	0.1	0.1	0.1
メロン類果実	1	0.4	0.3	0.1	0.3
まくわうり	1	0.1	0.1	0.1	0.1
その他のうり科野菜	1	0.5	0.7	2.3	0.1
ほうれんそう	30	561.0	651.0	522.0	303.0
オクラ	3	0.9	0.9	0.6	0.6
しようが	0.03	0.0	0.0	0.0	0.0
未成熟えんどう	3.0	1.8	1.8	2.1	0.6
未成熟いんげん	3.0	5.7	5.4	5.4	3.6
えだまめ	3.0	0.3	0.3	0.3	0.3
その他の野菜	50	630.0	610.0	480.0	485.0
みかん	1.0	41.6	42.6	45.8	35.4
なつみかんの果実全体	1.0	0.1	0.1	0.1	0.1
レモン	1.0	0.3	0.3	0.3	0.2
オレンジ（ネーブルオレンジを含む）	1.0	0.4	0.2	0.8	0.6
グレープフルーツ	1.0	1.2	0.8	2.1	0.4
ライム	1.0	0.1	0.1	0.1	0.1
その他のかんきつ類果実	1.0	0.4	0.6	0.1	0.1
りんご	2	70.6	71.2	60.0	72.4
日本なし	2	10.2	10.2	10.6	8.8
西洋なし	2	0.2	0.2	0.2	0.2
びわ	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0
もも	1.5	0.8	0.2	6.0	1.1
ネクタリン	3	0.3	0.3	0.3	0.3
アンズ（アプリコットを含む）	1.5	0.2	0.2	0.2	0.2
スモモ（プルーンを含む）	1.5	0.3	0.3	2.1	0.2
うめ	1.5	1.7	2.4	2.1	0.5
おうとう（チェリーを含む）	3	0.3	0.3	0.3	0.3
いちご	3	0.9	0.3	0.3	1.2
ラズベリー	5.0	0.5	0.5	0.5	0.5
ブラックベリー	5.0	0.5	0.5	0.5	0.5
ブルーベリー	3.0	0.3	0.3	0.3	0.3
クランベリー	0.5	0.1	0.1	0.1	0.1
ハックルベリー	3.0	0.3	0.3	0.3	0.3
その他のベリー類果実	5.0	0.5	0.5	0.5	0.5
ぶどう	10	58.0	38.0	16.0	44.0
かき	1	31.4	49.6	21.5	8.0
バナナ	2.0	25.2	35.4	17.4	22.6
パパイヤ	2.0	0.2	0.2	0.2	0.2
アボカド	1	0.2	0.2	0.1	0.1
グアバ	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0
マンゴー	1	0.1	0.1	0.1	0.1
パッションフルーツ	1	0.1	0.1	0.1	0.1
その他の果実	3	11.7	5.1	4.2	17.7
べにばなの種子	1.0	0.1	0.1	0.1	0.1
綿実	0.02	0.0	0.0	0.0	0.0
なたね	1	8.4	5.3	8.2	5.0
ぎんなん	0.02	0.0	0.0	0.0	0.0
くり	0.02	0.0	0.0	0.0	0.0
ペカン	0.02	0.0	0.0	0.0	0.0
アーモンド	0.02	0.0	0.0	0.0	0.0
クルミ	0.02	0.0	0.0	0.0	0.0
その他のナッツ類	0.5	0.1	0.1	0.1	0.1
茶	10	30.0	43.0	35.0	14.0
コーヒー豆	0.05	0.1	0.1	0.1	0.0
ホップ	20	2.0	2.0	2.0	2.0
その他のスパイス	30	3.0	3.0	3.0	3.0
その他のハーブ	50	5.0	5.0	5.0	5.0

食品群	基準値案 (ppm)	国民平均 TMDI	高齢者 (65歳以上) TMDI	妊婦 TMDI	幼小児 (1～6歳) TMDI
陸棲哺乳類の肉類	0.3	17.3	17.5	18.2	9.9
陸棲哺乳類の乳類	0.01	1.4	1.5	1.8	2.0
家禽の肉類	0.01	0.2	0.2	0.2	0.2
家禽の卵類	0.01	0.4	0.4	0.4	0.3
計		2600.4	2844.6	2071.4	1470.2
ADI比（%）		27.1	29.2	20.7	51.7

TMDI：理論最大1日摂取量（Theoretical Maximum Daily Intake）

（参考）

これまでの経緯

平成１０年　４月２４日　初回農薬登録
平成１６年１１月１６日　農薬登録申請（だいこん、ピーマンに係る適用拡大申請）
平成１６年１１月３０日　厚生労働大臣から食品安全委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成１６年１２月　９日　食品安全委員会（要請事項説明）
平成１７年　２月　９日　第２４回食品安全委員会農薬専門調査会
平成１７年１１月２９日　残留基準値の告示
平成１８年　７月１８日　厚生労働大臣から食品安全委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について追加要請
平成１８年　７月２０日　食品安全委員会（要請事項説明）
平成１８年１０月１６日　第５回食品安全委員会農薬専門調査会総合評価第二部会
平成１８年１１月　１日　第６回食品安全委員会農薬専門調査会幹事会
平成１８年１１月　９日　食品安全委員会における食品健康影響評価（案）の公表
平成１８年１１月２４日　薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会へ諮問
平成１８年１２月２１日　食品安全委員会（報告）
平成１８年１２月２１日　食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
平成１９年　３月１２日　薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会

●薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会

[委員]

青木　宙	東京海洋大学大学院海洋科学技術研究科教授
井上　松久	北里大学副学長
○大野　泰雄	国立医薬品食品衛生研究所副所長
尾崎　博	東京大学大学院農学生命科学研究科教授
加藤　保博	財団法人残留農薬研究所理事
斎藤　貢一	星薬科大学薬品分析化学教室助教授（～３／３１） 星薬科大学薬品分析化学教室准教授（４／１～）
佐々木　久美子	国立医薬品食品衛生研究所食品部第一室長（～３／３１） 国立医薬品食品衛生研究所客員研究員（４／１～）
志賀　正和	社団法人農林水産先端技術産業振興センター調査広報部　調査役（～３／３１） 元独立行政法人農業技術研究機構中央農業総合研究センター虫害防除部長（４／１～）
豊田　正武	実践女子大学生活科学部生活基礎化学研究室教授
米谷　民雄	国立医薬品食品衛生研究所食品部長
山内　明子	日本生活協同組合連合会組織推進本部　本部長
山添　康	東北大学大学院薬学研究科医療薬学講座薬物動態学分野教授
吉池　信男	独立行政法人国立健康・栄養研究所研究企画評価主幹
鰐渕　英機	大阪市立大学大学院医学研究科都市環境病理学教授

（○：部会長）